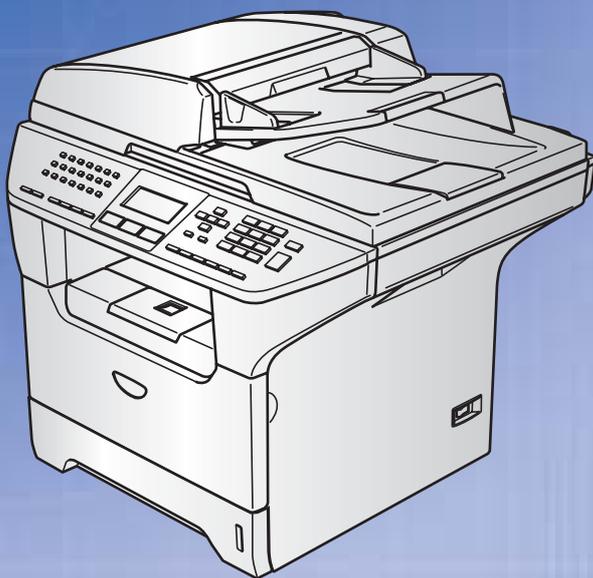
brother

ユーザーズガイド パソコン活用編

MFC-8460N MFC-8870DW

Windows®編

Macintosh®編

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-143-410

おかけ間違いのないようにご注意ください。

本製品の取り扱い・操作・障害についてご不明な点がございましたら、上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00～20:00（土曜日のみ17:00まで）
●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp

添付ソフトウェア（Presto! PageManager®）お問い合わせ窓口
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL/03-5472-7008　FAX/03-5472-7009
●受付時間／午前10:00～12:00・午後1:00～5:00（土日・祝日を除く）

やりたいことがすぐ探せる！ **やりたいこと目次** 6p

ユーザーズガイドの構成

本製品には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

	かんたん設置ガイド 必ず本書からお読みください。本製品を使用するための準備について記載しています。
	ユーザーズガイド（印刷版） ファクス、コピーのしかたや本製品のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	画面で見るユーザーズガイド（CD-ROM） 付属のCD-ROMには、パソコン画面で見ることができる次のユーザーズガイドが収録されています。 • ユーザーズガイド（HTML版）：各種機能の説明が収録されています。 • ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）：パソコンに接続して使う機能の説明が収録されています。 • ネットワーク設定ガイド（PDF版）：ネットワークに接続して使う機能の説明が収録されています。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
P.XXX	ユーザーズガイド（印刷版）の参照先を記載しています。（XXXはページ）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
	画面で見るユーザーズガイド（HTML版）を参照しています。

商標について

Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。
（本文中ではWindows NT® 4.0と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

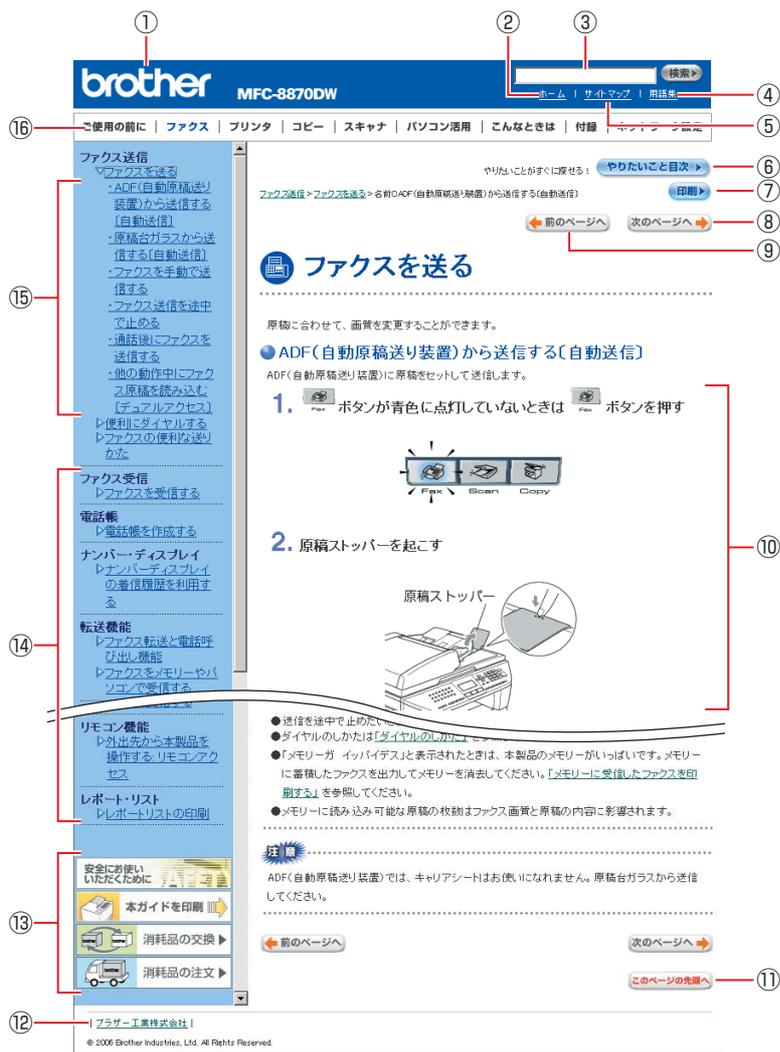
本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作

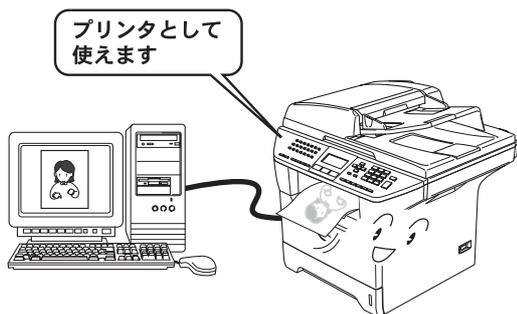
ユーザーズガイド（HTML版）をお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。

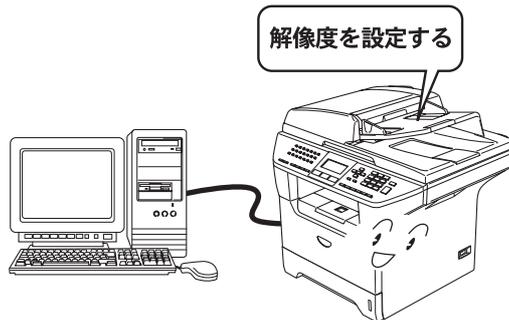
①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	用語集を表示します。
③	本ガイドの全体構成図を表示します。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次に移動します。
⑥	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：ユーザーズガイド（HTML版）ガイドを印刷する場合の説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑦	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。

①②	トップページに移動します。
③	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
④	用語集を表示します。
⑤	本ガイドの全体構成図を表示します。
⑥	やりたいこと目次に移動します。
⑦	現在のページを印刷します。
⑧	次のページに移動します。
⑨	前のページに移動します。
⑩	操作内容を表示します。
⑪	現在のページの最上部に移動します。
⑫	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑬	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：ユーザーズガイド（HTML版）を印刷するときの説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑭	大見出しです。
⑮	中見出し・小見出しです。
⑯	各機能のページ（章）に移動します。

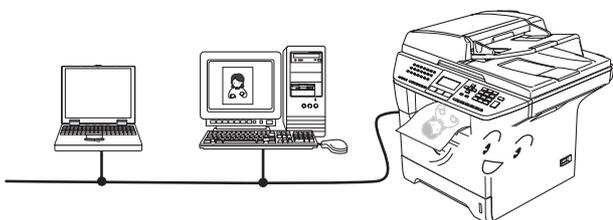
やりたいこと目次

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

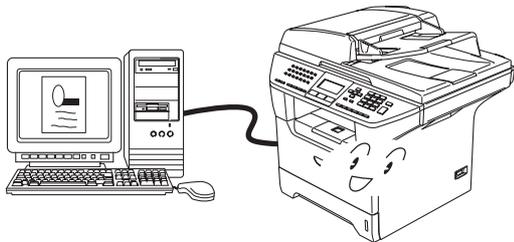
プリンタ

プリンタとして使いたい。

[Windows® の場合]
P.15
[Macintosh® の場合]
P.124

カスタム設定をしたい。

[Windows® の場合]
P.29
[Macintosh® の場合]
P.134

ネットワーク内で本製品を共有プリンタとして使いたい。

詳しくは、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

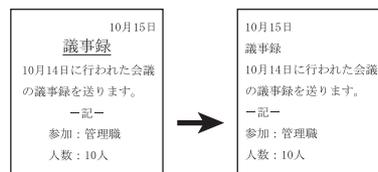
スキャナ

イラストや写真などの画像データをスキャンして編集したい。[スキャンイメージ]

[Windows® の場合]

P.65

[Macintosh® の場合]

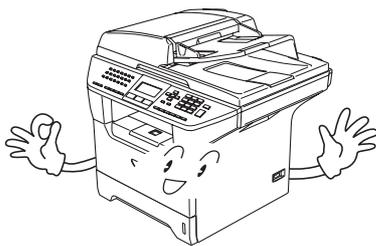
P.150

画像ファイルをテキストファイルに変換したい。

[Windows® の場合]

P.66 P.62

[Macintosh® の場合]

P.151

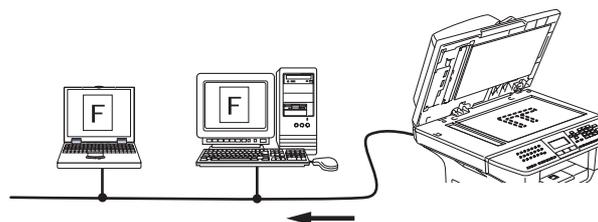
複数の原稿をまとめてスキャンしたい。

[Windows® の場合]

P.63 P.54

[Macintosh® の場合]

P.148 P.145

ネットワークスキャナとして使いたい。

本製品をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

[Windows® の場合]

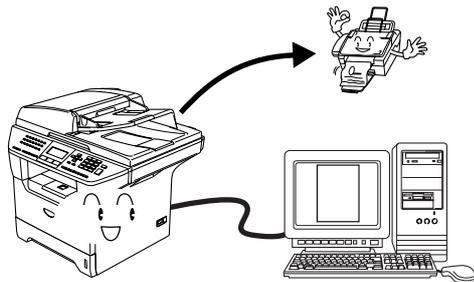
P.68

[Macintosh® の場合]

P.153

PC-FAX

コンピュータからファクスを送りたい。
［PC-FAX］

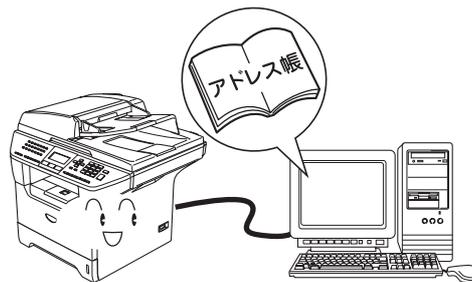
コンピュータで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。印刷してからファクスする必要はありません。

［Windows® の場合］

P.92

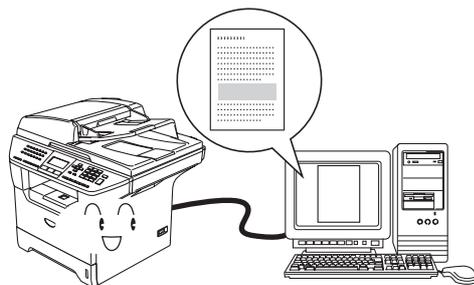
［Macintosh® の場合］

P.179 P.176

アドレス帳を利用したい。
［PC-FAX アドレス帳］

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。（Windows® のみ）

P.97

受信したファクスをコンピュータで確認したい。
［PC-FAX 受信］

受信したファクスを本製品と接続しているコンピュータに送ります。コンピュータ上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）

P.107

その他

Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合は、この機能は使用できません。

目　次

Windows®編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。
CD-ROMの中には、Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT®4.0対応のプリンタドライバが用意されています。
これらのドライバは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
コンピュータとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもコンピュータからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高24枚の印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 自動両面印刷（MFC-8870DW のみ）

1分間に最高11枚の両面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）
省資源、経費節減に有効です。

● 1200 × 1200dpi 出力

普通紙に1200×1200dpiの解像度で印刷します。

● 双方向パラレルインターフェース（IEEE1284）に対応

本製品のパラレルポートはコンピュータとの双方向通信に対応します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、OHPフィルムおよびはがきなどに対応します。

● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

補足

●解像度などの設定についてはP.29を参照してください。

●記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド（印刷版）P.36を参照してください。

●印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

●本製品がコンピュータからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはコンピュータの印刷終了後です。また、コンピュータから印刷中にファクスを受信すると、コンピュータの印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

■ご使用のソフトウェアの種類やコンピュータの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

■用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■多目的トレイから用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に前面の用紙以外を押さえてください。

印刷する

片面に印刷する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

4 ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

ステータスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する（MFC-8870DWのみ）

両面印刷できるのは、A4サイズのみです。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3 ［基本設定］タブの両面印刷 / 小冊子印刷から［両面印刷］を選択する

［拡張機能］タブからも設定できます。詳しくは、P.30 を参照してください。

4 ［OK］をクリックする

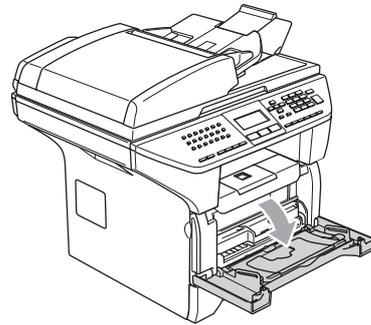
5 ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

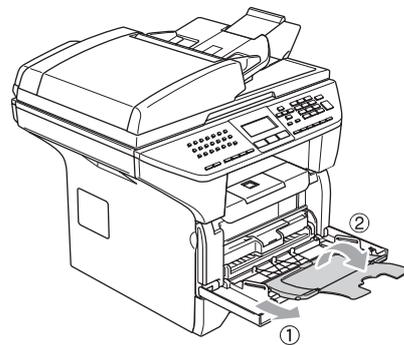
ステータスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

多目的トレイを使用して印刷する

本製品の前面には、多目的トレイがあります。多目的トレイに用紙を入れると、自動的に多目的トレイモードになります。

多目的トレイを開く

必要に応じて、サブトレイを開きます。

印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする

記録紙ガイドの凸部までの枚数の記録紙をセットしてください。

記録紙ガイドリリースボタンを押しながら、記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

6 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

7 ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする

ステータスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

官製はがきに印刷する

官製はがきを印刷するときに、印刷された官製はがきが排紙トレイから滑り落ちたり、印刷された官製はがきの反りが気になる場合は、はがき印刷サポートを取り付けてから印刷してください。

はがき印刷サポートの取付方法

はがき印刷サポートを排紙トレイから挿入する

右の図のように正しい向きで挿入してください。

「カチッ」と音がしてはがき印刷サポートが固定されるまで奥へ押し込む

注意

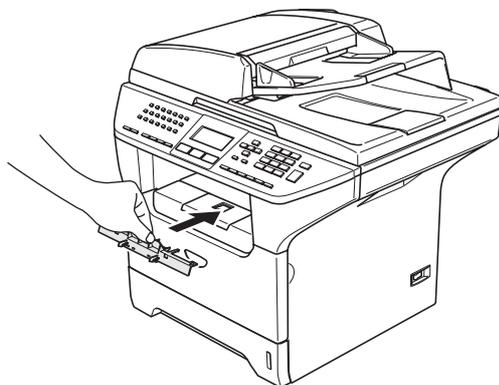
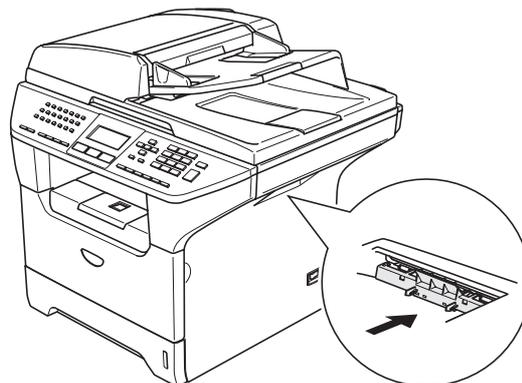
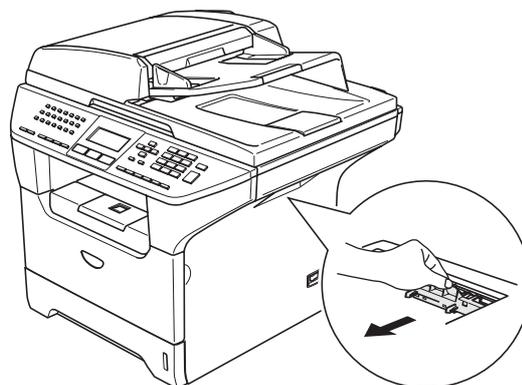
A4普通紙などを印刷するときは、はがき印刷サポートを取り外してください。また印刷された官製はがきは、すぐに取り除くことをお勧めします。

はがき印刷サポートの取り外し方

はがき印刷サポートの上部をつまみ、手前に傾けながら引き抜く

操作パネルからの操作

セキュリティ印刷をします。

セキュリティ　キャンセル
Print

本製品のメモリーに残るデータおよび印刷中のデータをクリアします。

セキュリティ印刷をする

コンピュータから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信して即印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、コンピュータ側のプリンタドライバでパスワードを設定します。詳しくは、P.35 を参照してください。
パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消失します。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。
データ受信後の印刷は、以下の操作で行います。

セキュリティ を押す

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データガ　アリマセン」と表示されます。

▲▼ を押してユーザーを選択し、OK を押す

```
セキュリティ プリント
 ナマエ ?
▲ KOIZUMI
▼ SAKAI
▲▼デンタク&OKボタン
```

▲▼ を押して印刷したいデータを選択し、OK を押す

```
セキュリティ プリント
 ブンショメイ ?
▲ TEST1
▼ TEST2
▲▼デンタク&OKボタン
```

４桁のパスワードを入力し、OK を押す

```
セキュリティ プリント
  TEST1

  パスワード:XXXX
ニュウリョク&OKボタン
```

▲▼ を押して「プリント」を選択し、OK を押す

- 印刷を開始します。
- 印刷をしないでデータを削除する場合は、▲▼ を押して「ショウキョ」を選択し、OK を押してください。

```
セキュリティ プリント
  TEST1
▲   プリント
▼   ショウキョ
▲▼デンタク&OKボタン
```

補足

- セキュリティ印刷で同時にアクセスできるユーザは、最大10名までです。
- 1ユーザがセキュリティ印刷できるジョブ数は3件までです。
  3件以上のセキュリティ印刷を行う場合は、未処理のジョブを印刷してから行ってください。

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

キャンセル を押す

メモリー内のデータが消去されます。

エミュレーションサポート

印刷データを受け取ったとき、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷することができます。下記のエミュレーションモードが自動で選択されます。

● HP LaserJet モード

HP LaserJet モード（HP モード）は、ヒューレット・パッカードLaserJet レーザープリンタのPCL6 言語互換のエミュレーションモードです。
アプリケーションソフトがヒューレット・パッカード LaserJet レーザープリンタの PCL6 言語に対応している場合は、このモードを使用すると、最も品質のよい印刷が可能です。

● BR-Script 3 モード

BR-Script 3 モードは、当社独自の言語とPostScript® 言語の解析プログラムで構成されたエミュレーションモードです。
レベル3 のPostScript® に対応したテキストやグラフィックスの印刷が可能です。

PostScript のコマンドに関する技術的な情報は、下記の文献を参照してください。

- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Reference, third Edition. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1999. ISBN: 0-201-37922-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Program Design. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1988. ISBN: 0-201-14396-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Tutorial and Cookbook. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1985. ISBN: 0-201-10179-3

● EPSON FX-850 モード

EPSON FX-850モードは、ドットマトリクスプリンタ用の業界基準を準拠するためのエミュレーションモードです。
ドットマトリクス対応プリンタとして印刷する必要がある場合は、このモードを使用してください。

エミュレーションモードの設定

メニュー 、4 GHI 、1 の順に押す

▲▼ で選択して OK で決定することも可能です。

▲▼ を押して「ジドウ」、「HP LaserJet」、「BR-Script 3」または「EPSON FX-850」を選択する

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

OK を押す

エミュレーションモードが登録されます。

停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、1 **の順に押す**

▲▼で選択して OK で決定することも可能です。

スタート **を押す**

フォントリストが出力されます。

停止/終了 **を押す**

プリント設定内容リストの出力

現在のプリント設定内容を印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、2 ABC **の順に押す**

▲▼で選択して OK で決定することも可能です。

スタート **を押す**

プリント設定内容が出力されます。

停止/終了 **を押す**

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

メニュー、4 GHI、3 DEF **の順に押す**

▲▼で選択して OK で決定することも可能です。

1 **を押す**

プリント設定内容が初期化されます。

停止/終了 **を押す**

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のコンピュータからステータスモニタで本製品の印刷状況や記録紙の有無などを確認できます。

ステータスモニタを起動する

［スタート］メニューの［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］－［Brother MFC-xxxxx（USB）Printer］の順に選択する

ステータスモニタウインドウが表示されます。

ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［パソコン起動時に起動する］をクリックしてチェックする

ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［表示場所］を選択してチェックする

ステータスモニタアイコンが選択した表示場所に表示されます。

補足

- ステータスモニタアイコンを右クリックしても手順2～3の操作が可能です。
- ［パソコン起動時に起動する］のチェックをはずすと、プリンタドライバの「拡張機能」タブでステータスモニタがオンになっていてもステータスモニタは表示されません。

本製品の状態を確認する

ステータスモニタアイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

- **緑色のアイコン**

  本製品は正常に動作しています。

- **黄色のアイコン**

  本製品は警告状態です。

- **赤色のアイコン**

  本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題が解決しないときは、ユーザーズガイド（印刷版）P.174 を参照してください。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本製品をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

ブラザーソリューションセンター　http://solutions.brother.co.jp

ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピュータから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

各項目を設定する

- 設定内容の詳細は P.26 を参照してください。

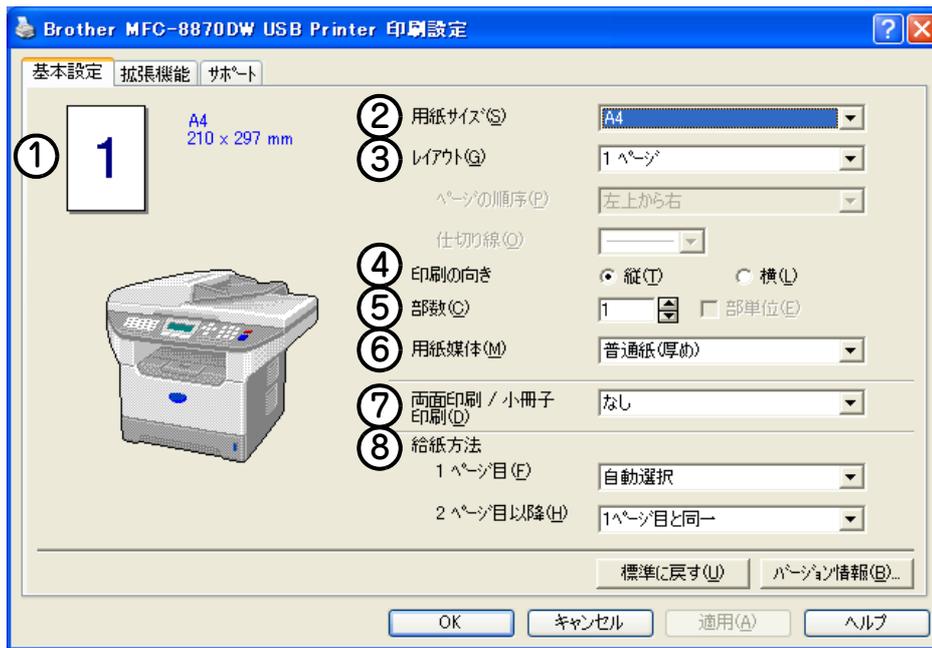
［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックします。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

［基本設定］タブでの設定項目

設定後［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① 現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

② 用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する［用紙サイズ］を選択します。

- A4
- レター
- リーガル
- A5
- A6
- B5
- バイブルサイズ
- ハガキ
- 洋形4号
- 洋形最大
- ユーザー定義...
- A3
- B4

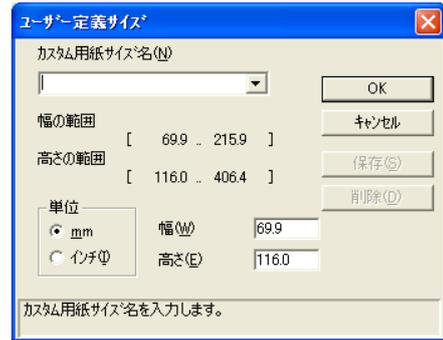
<ユーザー定義サイズ>

本製品は下記の範囲内で、任意の用紙サイズを印刷することができます。

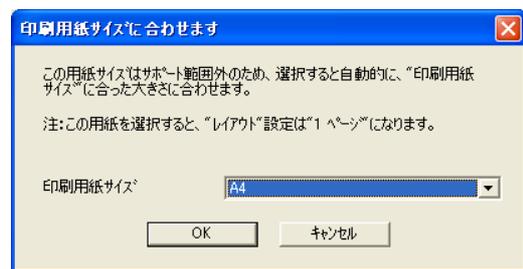
最小　69.9×215.9ミリメートル（2.75×8.5インチ）

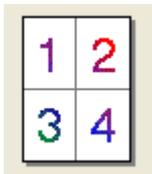
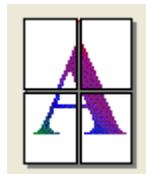
最大　116×406.4ミリメートル（4.57×16インチ）

このオプションでは特定の大きさの用紙を次の方法で登録できます。

1 使いたい用紙のサイズを計ります。
2 ［用紙サイズ］から［ユーザー定義 ...］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。
3 ［カスタム用紙サイズ名］に用紙サイズを入力します。
4 単位は［mm］か［インチ］を選択します。
5 ［幅］と［高さ］を指定します。
6 ［保存］をクリックして用紙サイズを登録します。必要に応じて［削除］をクリックすることで、あらかじめ登録してある用紙サイズを削除することができます。
7 ［OK］をクリックすると、設定した値をユーザー定義サイズとして使用することができます。

<印刷用紙サイズに合わせます>

［用紙サイズ］から［A3］または［B4］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。

本製品で対応していない用紙サイズ（A3、B4）を仮想の用紙サイズとして選択可能にしています。これらの用紙サイズは、ダイアログボックスの［印刷用紙サイズ］で印刷可能サイズに変換して印刷します。

③ レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して1枚のページを複数の用紙に印刷できます。

例:４枚を１ページに縮小印刷

例:１枚を４ページに拡大印刷

仕切り線

［レイアウト］機能で複数のページを１枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「────」（実線）、「---------」（破線）、「なし」から選択できます。

④ 印刷の向き

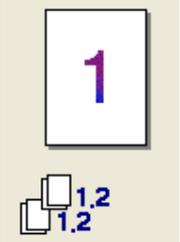
文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦選択時	横選択時
1	1

⑤ 部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。［部単位］のチェックボックスをチェックすると、文書全体が1部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。［部単位］チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

⑥ 用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙（厚め）
- 普通紙
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。

市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。

ラベル、官製はがきなど厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙（ハガキ）］を選択します。［厚紙（ハガキ）］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。

OHPフィルムには［OHP］を選択します。

再生紙には［再生紙］を選択します。

⑦ 両面印刷／小冊子印刷（MFC-8870DW のみ）

自動両面印刷または小冊子印刷をするときにプルダウンメニューから選択します。

- 両面印刷..........................自動で用紙の両面に印刷したい時、設定します。
- 小冊子印刷.....................小冊子印刷をしたい時、選択します。

⑧ 給紙方法

オプションの「記録紙トレイ#2」（LT-5300）を装着しているときは、1ページ目と2ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

1ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ1
- トレイ2（オプション）
- MPトレイ（多目的トレイ）
- 手差し

2ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1ページ目と同一
- トレイ1
- トレイ2（オプション）
- MPトレイ（多目的トレイ）
- 手差し

［拡張機能］タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

Windows®のプリンタ共有機能を使って印刷する場合、ご使用のOSの種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

印刷品質

① 解像度

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- 1200 dpi
- HQ1200
- 600 dpi
- 300 dpi

② トナー節約モード

［オン］を選択することで、印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。（解像度1200 dpiまたはHQ1200を選択した場合は操作できません）

③ 印刷設定

（Windows® 98/98SE/Me）

［自動設定］を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。

［手動設定］を選択すると、［明るさ］、［コントラスト］、［ディザリング］オプションを手動で変更できます。

（Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0）

［自動設定］を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。

［手動設定］を選択すると、［プリンタのハーフトーンを使う］［システムのハーフトーンを使う］［階調印刷を改善する］［パターン印刷を改善する］オプションを手動で変更できます。

［プリンタのハーフトーンを使う］は、プリンタのハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。

［システムのハーフトーンを使う］は、Windows®システムの持つハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。

［階調印刷を改善する］は、階調部分がきれいに印刷できないときに選択します。

両面印刷

両面印刷の設定ができ、6種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。

● MFC-8870DW

① 両面印刷

チェックボックスをチェックすると、両面印刷を自動で行うか手動で行うかが選択できます。

- 両面印刷ユニットを使う
  本製品内部の両面印刷ユニットを使って自動で両面印刷をします。
- 手動両面印刷
  チェックボックスをチェックすると、はじめに偶数番号のページ（裏面）を印刷します。その後、プリンタがいったん停止し、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、［OK］ボタンをクリックすると、奇数番号のページ（表面）の印刷を開始します。

② 小冊子印刷

両面印刷のチェックボックスにチェックすると、小冊子印刷が選択できます。小冊子としての印刷をしたい時に設定します。印刷が終了した後、印刷した用紙の真中を折り曲げると小冊子になります。

③ 綴じ方

印刷の向き、縦または横など6種類の綴じ方から選択します。

左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
右綴じ	下綴じ	下綴じ（反転なし）

④ 綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側の量をインチ（0～8インチ）またはミリメートル（0～203.2mm）で設定できます。

● MFC-8460N

① 手動両面印刷

チェックボックスをチェックすると、はじめに偶数番号のページ（裏面）を印刷します。その後、プリンタがいったん停止し、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、［OK］ボタンをクリックすると、奇数番号のページ（表面）の印刷を開始します。

② 小冊子印刷

手動両面印刷のチェックボックスにチェックすると、小冊子印刷が選択できます。小冊子としての印刷をしたい時に設定します。印刷が終了した後、印刷した用紙の真中を折り曲げると小冊子になります。

③ 綴じ方

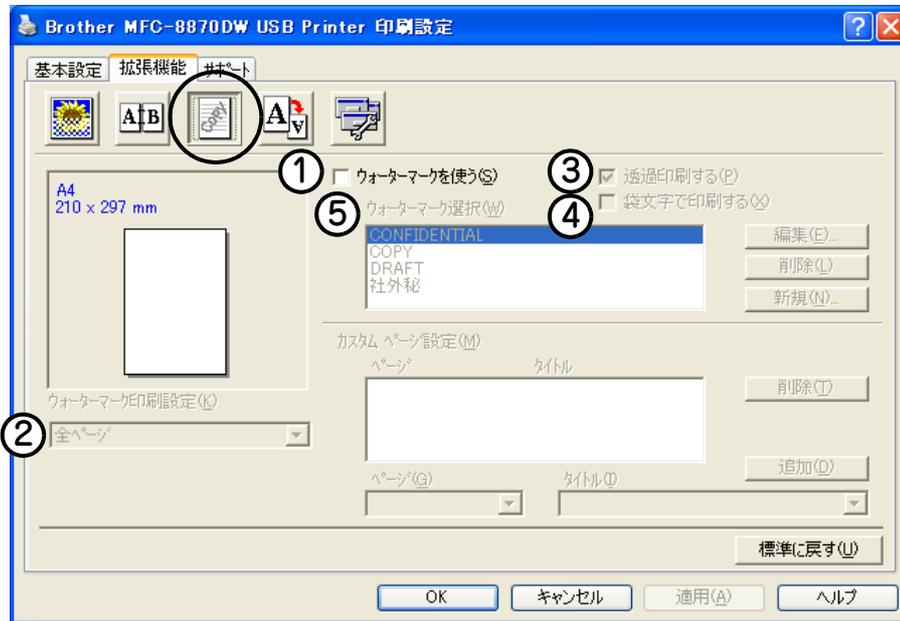
印刷の向き、縦または横など6種類の綴じ方から選択します。

左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
右綴じ	下綴じ	下綴じ（反転なし）

④ 綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側の量をミリメートル（0～203.2mm）またはインチ（0～8インチ）で設定できます。

ウォーターマーク

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイル、またはテキストをウォーターマークとして新規に登録して使うことができます。
［ウォーターマークを使う］をチェックして、使いたいウォーターマークを選択してください。

① ウォーターマークを使う

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークの選択ができます。

② ウォーターマーク印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム

③ 透過印刷する

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書に対し透過してウォーターマークが印刷されます。

④ 袋文字で印刷する（Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0）

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

⑤ ウォーターマーク選択

選択したウォーターマークが左のプレビュー画面に表示されます。
ウォーターマーク印刷設定として［全ページ］、［開始ページのみ］、［2ページ目から］を選択した場合、指定のページにはここで選択したウォーターマークが印刷されます。

● ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、［編集］ボタンを押すと、選択したウォーターマークの設定情報が表示されます。
また、これらの設定値はすべて変更することができます。
新しいウォーターマークを追加したい場合は、［ 新規 ］ボタンをクリックし、［スタイル］および［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択し、その他所定の情報を設定します。

① 位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

② タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、［ウォーターマーク選択］に表示されます。

③ スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ ウォーターマーク文字

透かし絵の文字を［表示内容］ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイルを選択します。

⑤ ウォーターマークビットマップ

［ファイル］ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、
［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥ 拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。

① 拡大・縮小

文書を画面に表示されたとおりに印刷する場合は、［オフ］をチェックします。文書のサイズが特別な場合や、標準サイズの用紙しかない場合は、［印刷用紙サイズに合わせます］をチェックして、用紙サイズを選択します。

印刷出力を拡大や縮小する場合は、［任意倍率］をチェックして、倍率を指定します。

② 左右反転 / 上下反転

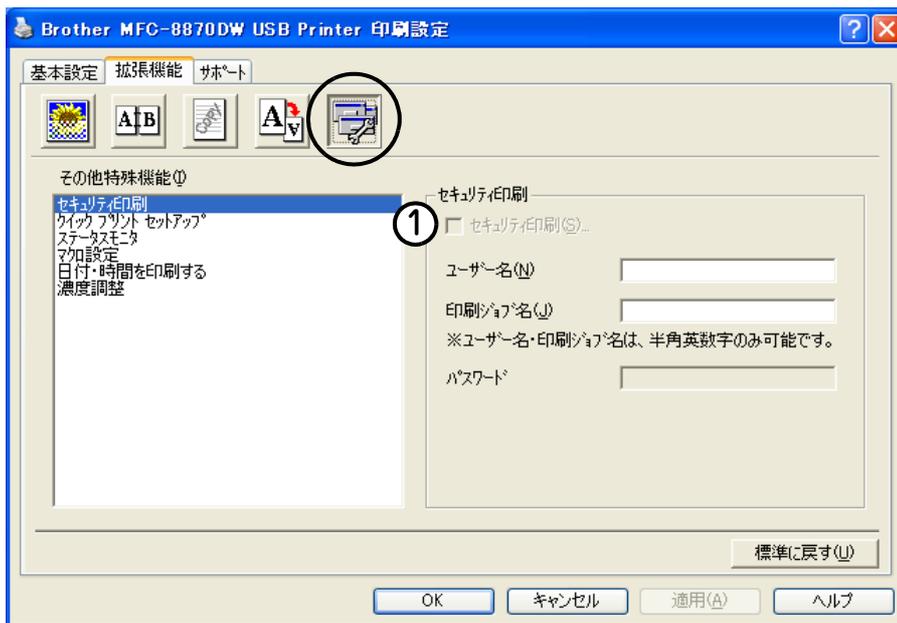
［左右反転］機能や［上下反転］機能をページの設定に使用することもできます。

その他特殊機能

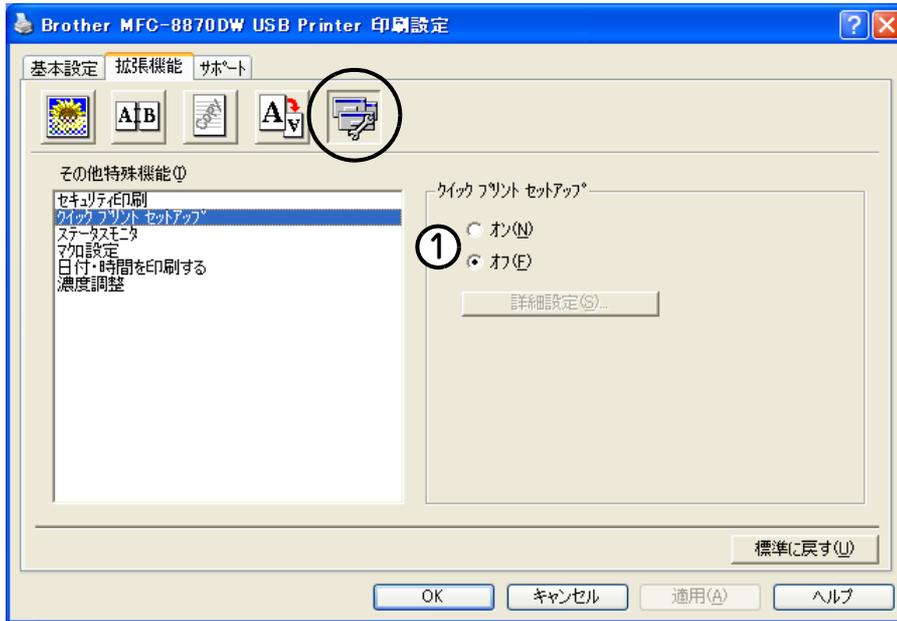
［その他の特殊機能］で各機能を設定できます。

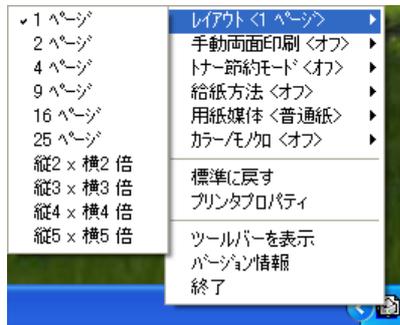
補足
お使いのアプリケーションソフトによって設定できる内容が異なります。

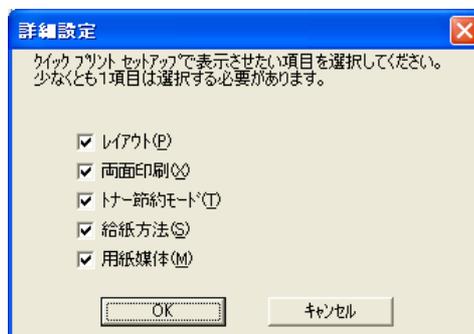
● セキュリティ印刷

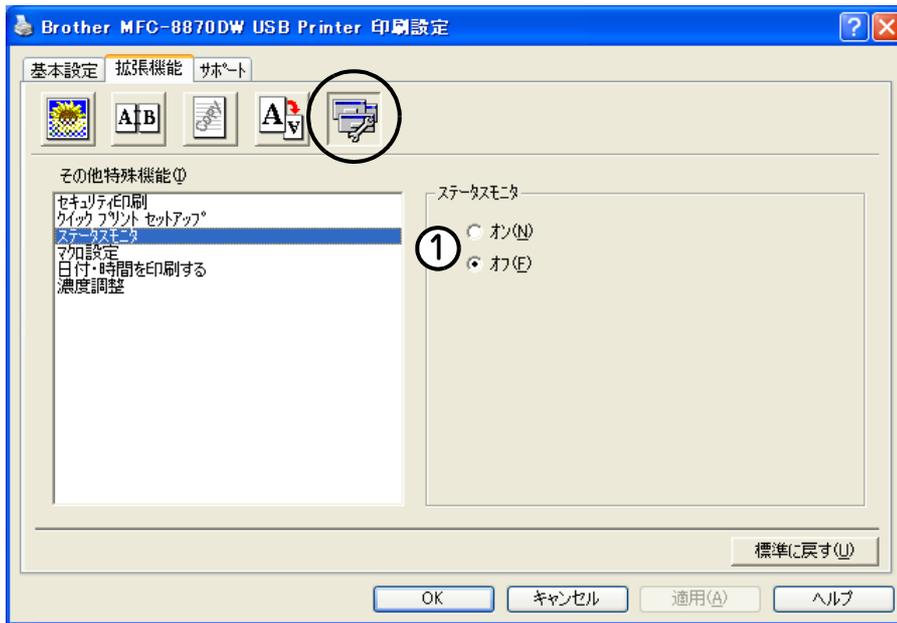
セキュリティ印刷をする場合のパスワードを設定します。パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。セキュリティ印刷の詳細についてはP.20を参照してください。

①［セキュリティ印刷］のチェックボックスをチェックして、ユーザー名とパスワードを入力します。
本製品に転送した印刷データを削除する場合も、ここで設定したパスワードで削除します。

● クイックプリントセットアップ

ドライバの設定を素早く選択できます。

①クイックプリントセットアップ　オン / オフ

クイックプリントセットアップを［オン］にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。

②詳細設定ボタン

設定を表示するには、クイックプリントセットアップを［オン］にして、［詳細設定］ボタンをクリックします。［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

● ステータスモニタ

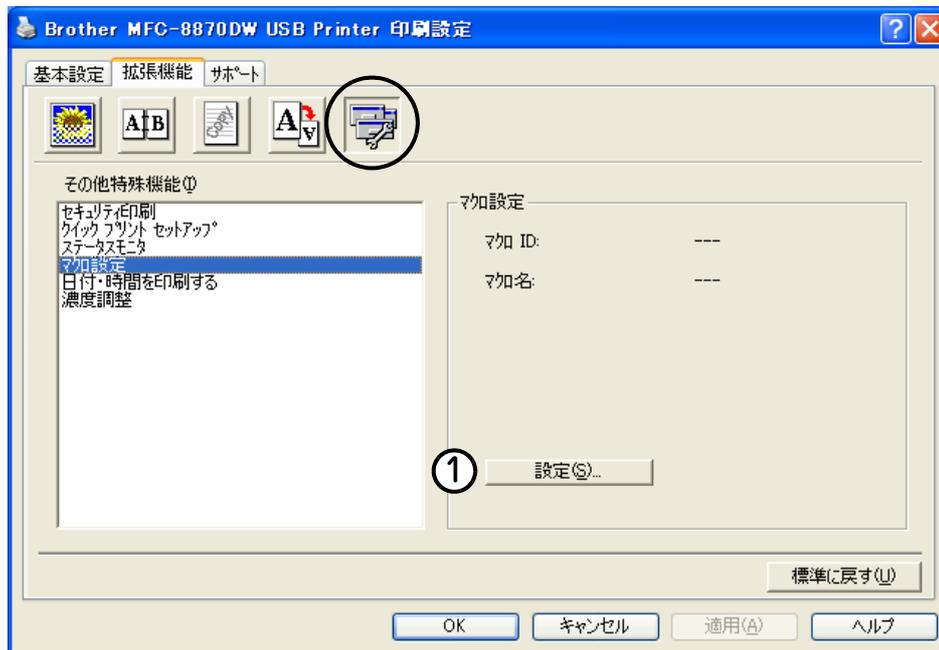
印刷時の本製品の状態を確認できます。

①ステータスモニタ　オン / オフ

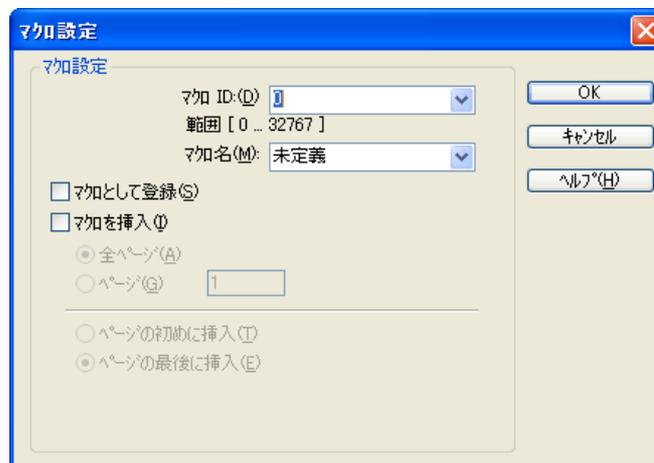
ステータスモニタを［オン］にすると、印刷時の本製品の状態を確認することができます。本製品の状態を確認する必要がなく印刷の速度を上げたい場合は、ステータスモニタを［オフ］にしてください。

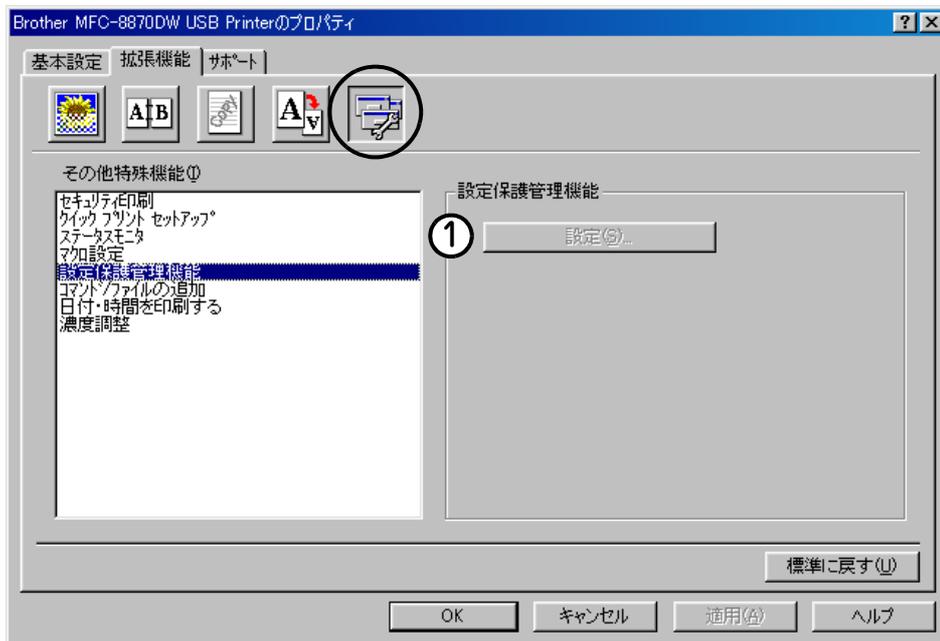
補足

ステータスモニタの設定で［コンピュータ起動時に起動する］がオンになっていないと、ステータスモニタは表示されません。詳しくはP.23を参照してください。

● マクロ設定

会社のロゴなどをマクロとして登録すると、印刷時に印刷内容と重なって印刷されます。詳しくはプリンタドライバのヘルプを参照してください。

①設定ボタン

マクロを設定するには、［設定］ボタンをクリックします。［マクロ設定］ダイアログボックスが表示されます。マクロ設定の詳細はプリンタドライバのヘルプを参照してください。

● 設定保護管理機能（Windows® 98/98SE/Me のみ）

パスワードで設定を保護できます。

①設定ボタン

パスワードを設定するには、［設定］ボタンをクリックします。［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。

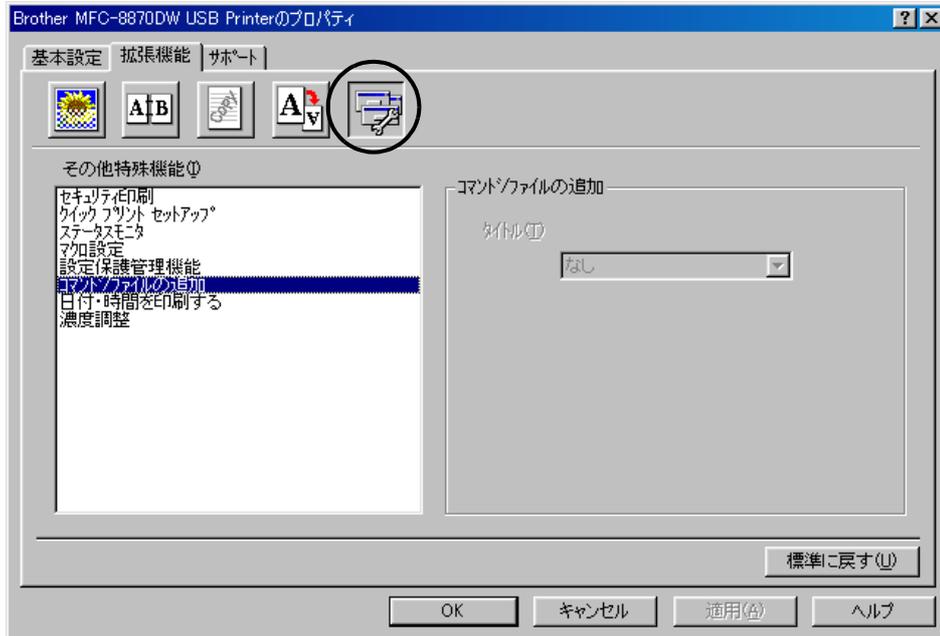
②部数印刷のロック / レイアウト・拡大縮小のロック / ウォーターマークのロック

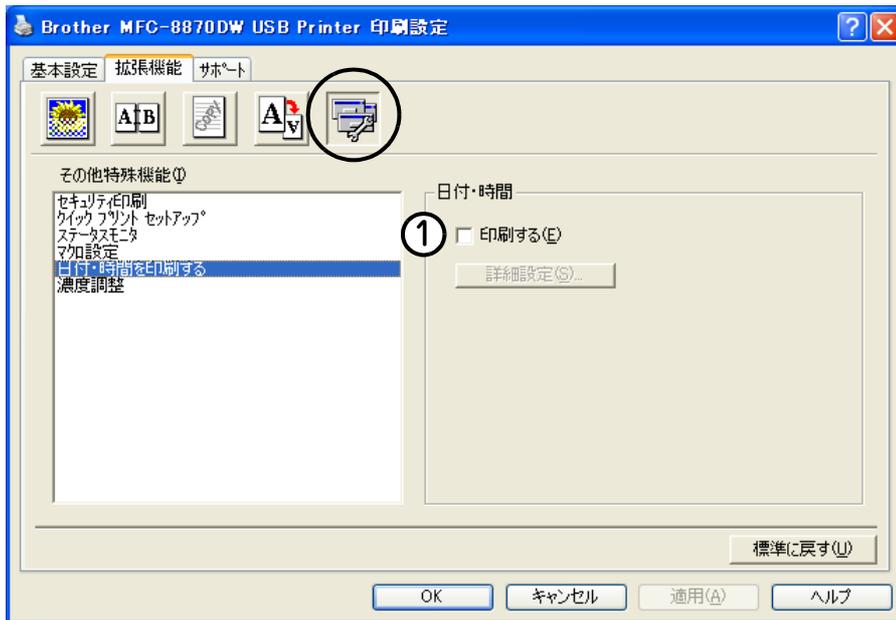
チェックボックスをチェックすると、［部数印刷のロック］、［レイアウト・拡大縮小のロック］、［ウォーターマークのロック］機能をロックしてパスワードで保護することができます。（パスワード設定時のみ）

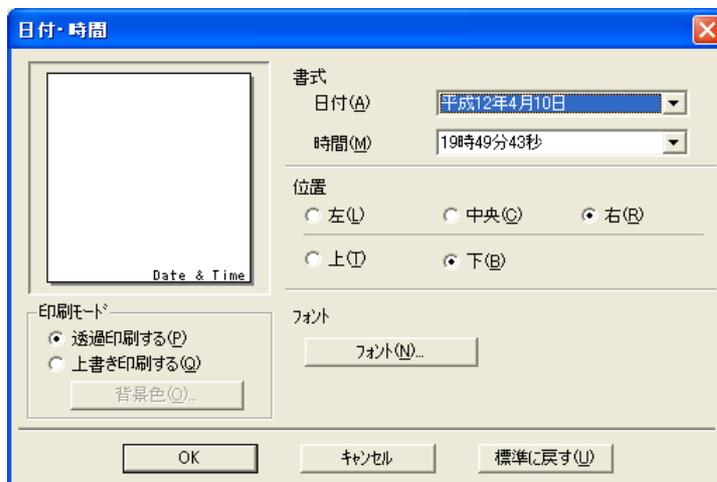
③パスワードの変更ボタン

パスワードを記録して、後で参照できるように安全な場所に保管します。パスワードを忘れてしまうと、これらの設定にアクセスできなくなります。

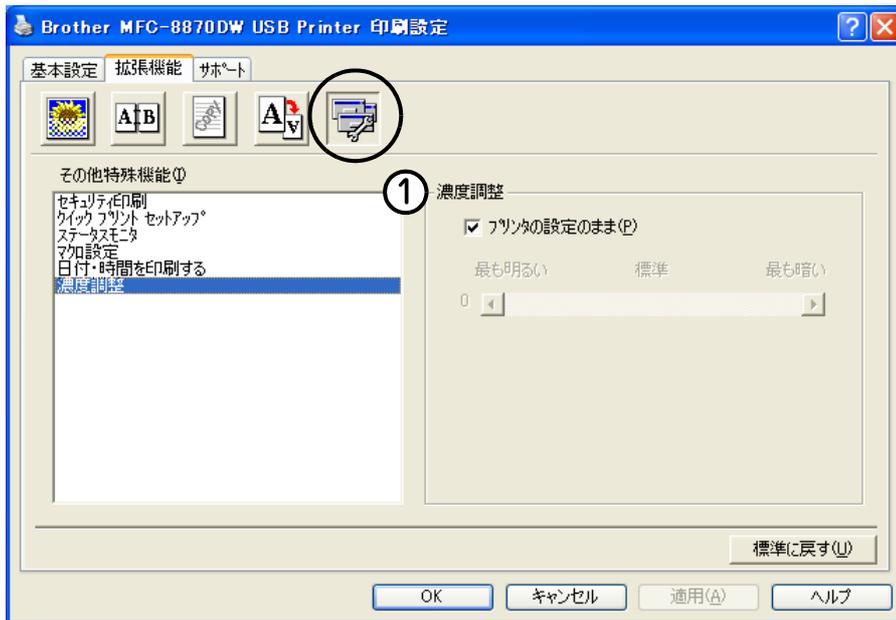
● コマンド / ファイルの追加（Windows® 98/98SE/Me のみ）

指定したコマンドやファイルを自動的にデータに追加して印刷します。
- 特定の文字列をデータに追加して印刷します。
- 登録してあるマクロIDを挿入して印刷します。

● 日付・時間を印刷する

［印刷する］チェックボックスをチェックすると、印刷した日付と時間が設定したフォーマットで文章に印刷されます。

①詳細設定ボタン

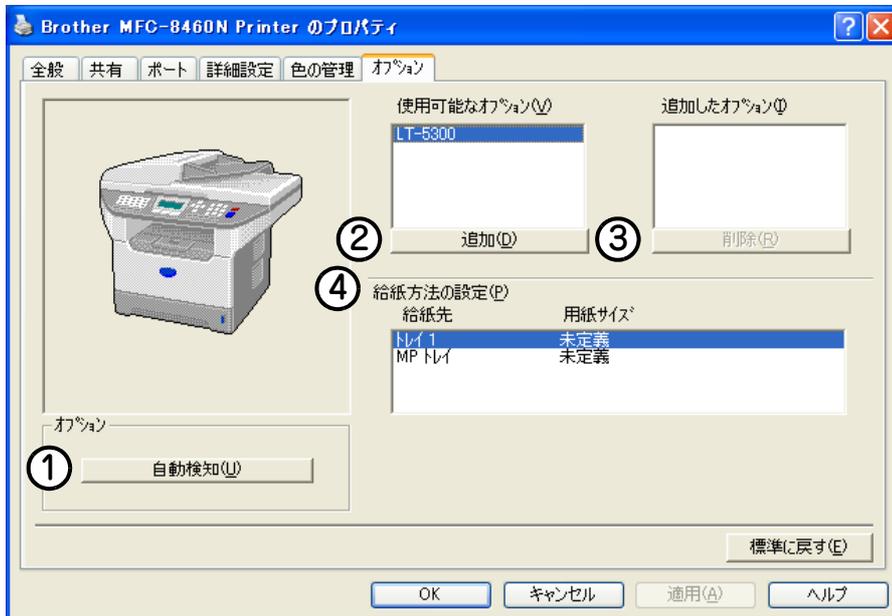
日付と時間の設定をするには、［印刷する］チェックボックスをチェックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。［日付・時間］ダイアログボックスが表示されます。

印刷モード、日付と時間の書式、フォント、位置を設定します。
背景を日付と時間に含めるときは、［上書き印刷する］を選択します。
［上書き印刷する］が選択されると、パーセンテージを変更して日付と時間の［背景の濃さ］を設定できます。

● 濃度調整

印刷の濃度を濃くしたり薄くしたりします。

①濃度調整

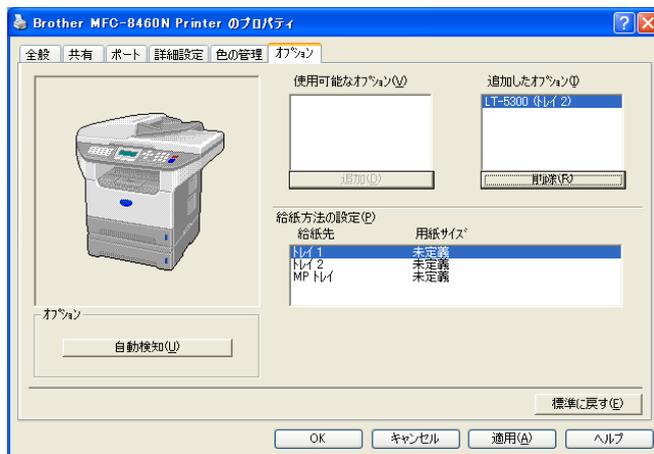
印刷の濃度を調整する場合は、［プリンタの設定のまま］チェックボックスのチェックを外し、スライドバーで調整します。

［オプション］タブでの設定項目

オプションの「記録紙トレイ#2」(LT-5300) を装着し、使用可能にするには、ドライバにそのオプションをインストールする必要があります。オプションタブでは、プリンタに装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。

① 自動検知

プリンタに装着されているオプションや給紙先の用紙サイズ設定情報を取得して、オプション設定を自動的に行います。同時に、画面には［記録紙トレイ#2］が設置された本製品のイラストが表示されます。

補足

自動検知による設定情報の取得は、プリンタドライバが選択している印刷先のポートにプリンタが接続され、かつ双方向通信が働く状態であることが必要です。

② 追加

使用可能なオプションのリストから追加するオプションを選択して、追加ボタンをクリックします。

③ 削除

追加したオプションのリストから削除するオプションを選択して、削除ボタンをクリックします。

④ 給紙方法の設定

各給紙先に対して設定されている用紙サイズの情報を表示します。

［サポート］タブでの項目

ドライババージョンと設定情報が示されています。また、［Brother Solutions Center］のリンクもあります。
サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。

① Brother Solutions Center

FAQ（よくある質問）、ユーザー向けガイド、ドライバー更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

② 設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

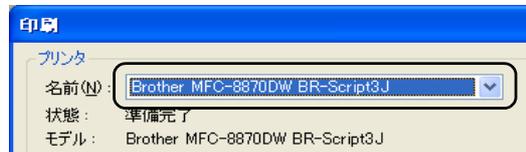
BR-Script3プリンタドライバについて

BR-Script3プリンタドライバはWindows® 98/98SE/Me/2000/XP/Windows NT® 4.0をサポートしています。プリンタドライバは、CD-ROM に収録されています。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

Windows® BR-Script3プリンタドライバを設定する

BR-Script3プリンタとして使用するには、本製品のエミュレーションモードを「BR-Script3」に設定する必要があります。詳しくは、P.21 を参照してください。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

補足

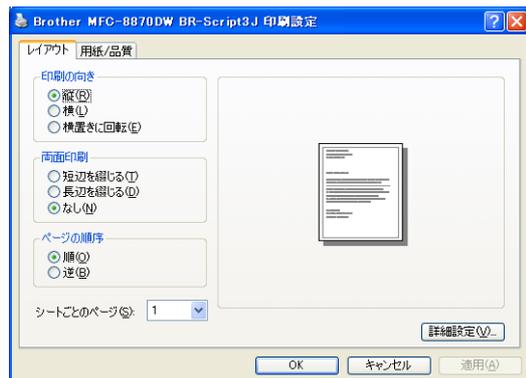
プリンタドライバの設定画面は、「スタート」メニューから表示することもできます。

① ［スタート］メニューから［プリンタとFAX（プリンタ）］をクリックします。

② ［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のプロパティをクリックします。

③ Windows® 2000/XP/Windows NT® 4.0の場合は、［全般］タブを選択して、［印刷設定］をクリックすると表示されます。
Windows® 98/98SE/Meの場合は、［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のプロパティに各項目が表示されます。

各項目を設定する

設定内容の詳細は P.48 を参照してください。

［適用］または［OK］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

ポートを選択する

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のポートが選択されていることを確認します。

［スタート］メニューから［プリンタと FAX（プリンタ）］をクリックする

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のプロパティをクリックする

［ポート］タブをクリックする

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のポートにチェックされていることを確認する

選択されていないときは、［Brother（モデル名）BR-Script 3J］と表示されているチェックボックスにチェックします。

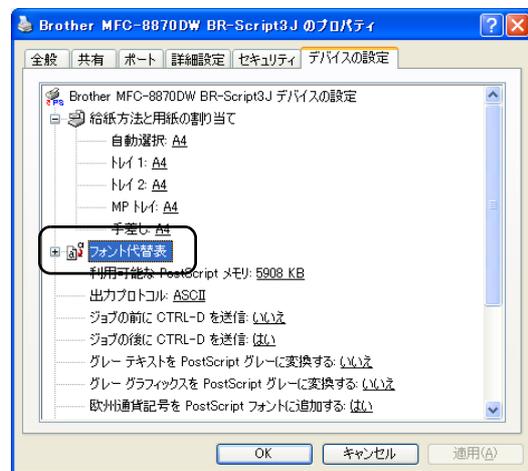
フォントオプションを指定する

TrueTypeフォントとPostScriptフォントの使用について、オプションを指定します。

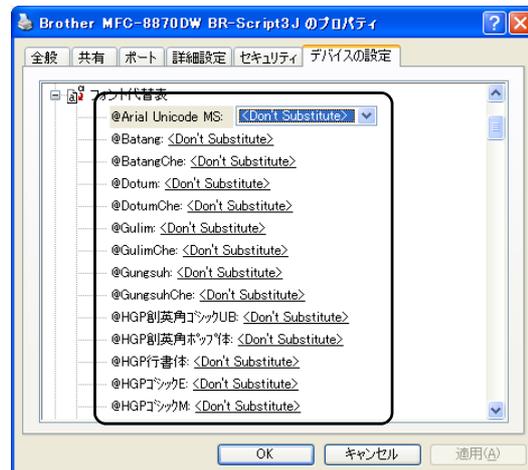
[スタート]メニューから[プリンタとFAX(プリンタ)]をクリックする

[Brother(モデル名)BR-Script 3J]のプロパティをクリックする

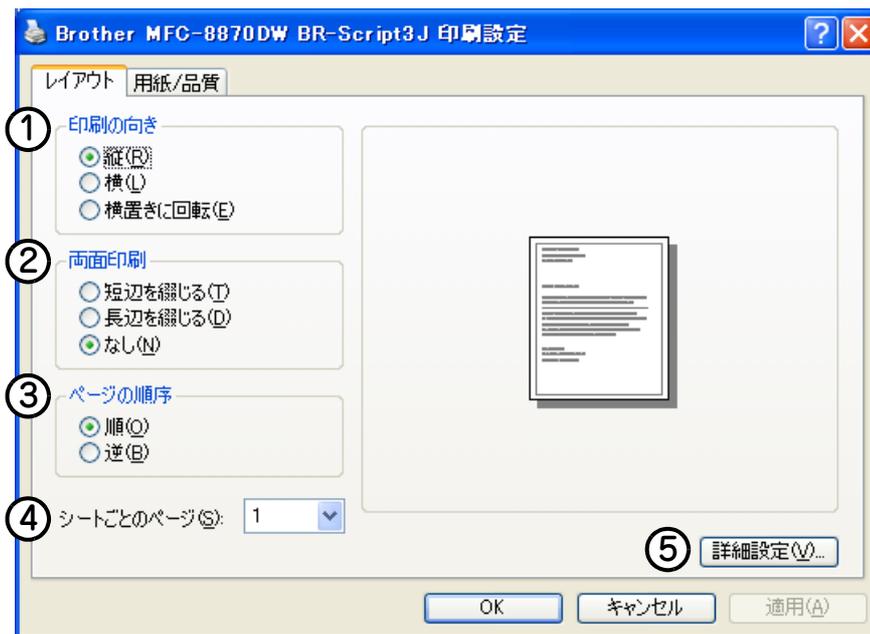
[デバイスの設定]タブをクリックする

[フォント代替表]をダブルクリックする

TrueTypeフォントオプションを指定する

PostScriptフォントを使用する代わりに、TrueTypeフォントを使って印刷する場合は、[Don't Substitute]を選択します。
TrueTypeフォントを使用する代わりに、PostScriptフォントを使って印刷する場合は、[フォント名]を選択します。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

BR-Script3プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

［レイアウト］タブでの設定項目

設定後［OK］または［適用］をクリックして、選択した設定を確定します。

① 印刷の向き

文章を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦	横	横置きに回転

② 両面印刷

自動両面印刷の設定（短辺または長辺を綴じる）を選択します。

短辺を綴じる	長辺を綴じる

③ ページの順序

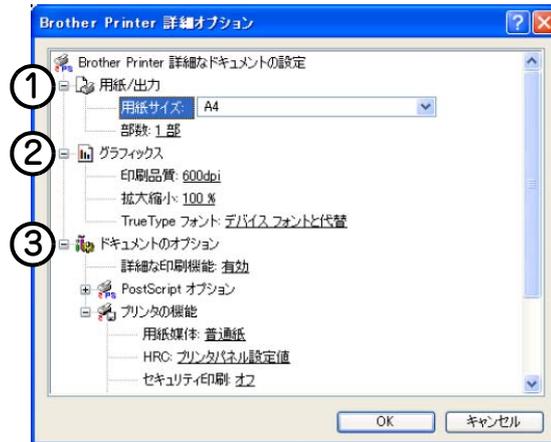
印刷されるページの順番（順または逆）を選択します。
［順］を選択すると1ページ目が1番上になり、［逆］を選択すると最後のページが1番上になるように印刷されます。

④ シートごとのページ

複数のページを1枚の用紙に印刷します。

2ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	4ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	6ページ分を1枚の用紙で印刷する場合
9ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	16ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	小冊子で印刷する場合

⑤ 詳細設定

［Brother（モデル名）BR-Script 3J詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

以下の項目を設定できます。

① 用紙 / 出力

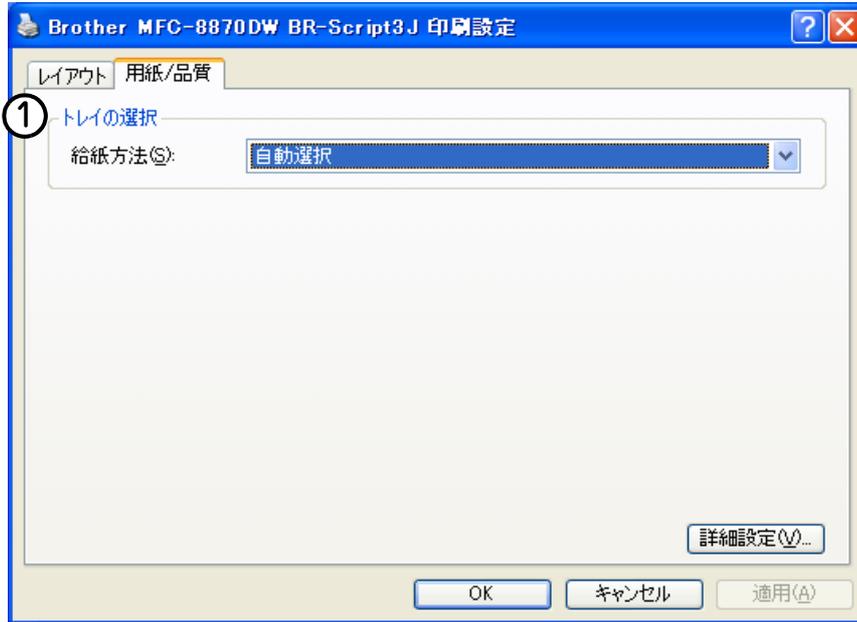
- 用紙サイズ
- 部数

② グラフィックス

- 拡大縮小
- TrueTypeフォント

③ ドキュメントのオプション

- 詳細な印刷機能
- PostScriptオプション
  - PostScript出力オプション
  - TrueType フォント ダウンロード オプション
  - PostScript言語レベル
  - PostScriptエラーハンドラを送信
  - 左右反転印刷
  - 白黒反転印刷
  - プリンタの機能
  - 解像度
  - 用紙媒体
  - 印刷ジョブのスプール
  - パスワード
  - 印刷ジョブ名
  - トナー節約
  - BR-Scriptレベル

［用紙/品質］タブでの設定項目

設定後［OK］または［適用］をクリックして、選択した設定を確定します。

①トレイの選択

給紙するトレイを選択します。

- 自動選択..本製品が自動的にトレイを選択します。
- トレイ1 ....記録紙トレイ1から給紙されます。
- トレイ2（オプション）..........................記録紙トレイ2から給紙されます。
- MPトレイ（多目的トレイ）....................多目的トレイから給紙されます。
- 手差し...多目的トレイから給紙されます。

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をスキャナとして使用する場合は、付属のCD-ROMに収録されているドライバをインストールする必要があります。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

補足

●付属のCD-ROMに収録されている「Presto! PageManager®」は、Windows NT®には対応していません。

●Brother 日本語 OCR は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、CSV形式で保存できるので、Microsoft® Word やMicrosoft® Excel で編集できます。

●「Presto! PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
ニューソフトカスタマーサポートセンター
Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

●TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition)」はWindows®でデジタルカメラやスキャナなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどは対応していないことがあります。

スキャナとして使う

TWAINドライバを使ってスキャンする

本製品のドライバはTWAIN対応です。ドライバにより、TWAIN対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager®」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときも、手順は同様です。

あらかじめ、「Presto! PageManager®」を起動させ、［ファイル］メニューの［TWAIN 対応機器の選択 ...］で、接続している機器の機種名（Windows® XPの場合：TW-Brother xxxx、その他の場合：Brother xxxx）を選択しておきます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto! PageManager® 画面から をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.55 を参照してください。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで以下の項目を設定する

- 解像度
- 色数
- 明るさ　など

［スキャン開始］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager® 画面に戻ります。

補足

- 「Presto! PageManager®」の操作の詳細については、「Presto! PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。ユーザーズマニュアルは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Presto! PageManager® 6］－［Presto! PageManager® 6.13 ユーザーズマニュアル］を選ぶと表示されます。
- 操作の詳細については、Presto! PageManager®の電子マニュアル（PDF形式）をご覧ください。

TWAINダイアログボックスでの設定

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。

① 簡単設定（イメージタイプ）

カラー写真：写真の場合に選択します。（解像度：300×300dpi　色数：1677万色カラー）
ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。（解像度：100×100dpi　色数：1677万色カラー）
モノクロ文書：文書の場合に選択します。（解像度：200×200dpi　色数：白黒）

② 解像度

解像度のプルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。
選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒／グレー／256階調グレー	256色カラー	1677万色カラー／1677万色カラー（高速）
100×100dpi	○	○	○
150×150dpi	○	○	○
200×200dpi	○	○	○
300×300dpi	○	○	○
400×400dpi	○	○	○
600×600dpi	○	○	○
1200×1200dpi	○	×	○
2400×2400dpi	○	×	○
4800×4800dpi	○	×	○
9600×9600dpi	○	×	○
19200×19200dpi	○	×	○

③ 色数

白黒

テキストや線画の場合に設定します。

グレースケール

写真画像の場合にグレー、または256階調グレーに設定します。

カラー

256色カラー、1677万色カラー、1677万色カラー（高速）のいずれかを選択します。

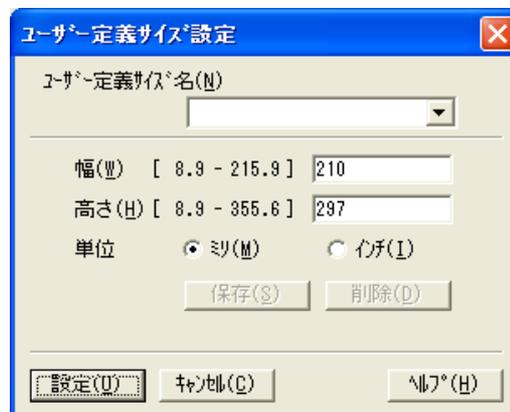
④ 明るさ／コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- A4　210×297mm
- B5（JIS）　182×257mm
- レター　215.9×279.4mm（8.5×11 in）
- リーガル　215.9×355.6mm（8.5×14 in）
- A5　148×210mm
- エクゼクティブ　184.1×266.7mm（7.25×10 1/2 in）
- 名刺　90×60mm
- ポストカード　10×15cm（4×6 in）
- インデックスカード　127×203.2mm（5×8 in）
- L判　89×127mm
- 2L判　127×178mm
- ハガキ　100×148mm
- 往復ハガキ　148×200mm
- ユーザー定義サイズ...

［ユーザー定義サイズ...］を選択した場合は、右の画面が表示されます。［幅］と［高さ］を入力します。

⑥ 両面読取り（MFC-8870DW のみ）

両面に印刷された原稿を自動的に読み取ることができます。綴じしろの位置を指定することで、読み取った偶数ページのデータを自動的に回転し、すべてのページのイメージが同じ向きで表示されます。

- 長辺を綴じる
- 短辺を綴じる

補足

- 1677万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256色カラーを使用した場合の3倍ほどになります。
- 1677万色カラー（高速）では、ブラザーカラーマッチング技術を使用しないため、1677万色カラーよりも高速にスキャンすることができます。
- ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。
- 名刺をスキャンするには、名刺サイズ（90×60mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。
- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。
- ユーザー定義サイズは、8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで調整できます。

自動両面スキャンする

両面に印刷された原稿を自動的に読取ることができます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

［両面読取り］のチェックボックスにチェックする

［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

［スキャン開始］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager® 画面に戻ります。

補足

- スキャンする範囲をドラッグして調節することはできません。
- ［プレビュー開始］ボタンは、使用することができません。

プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［プレビュー開始］ボタンをクリックする

全原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレビュー開始］ボタンをクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度セットしてから［スキャン開始］ボタンをクリックする必要があります。

スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端をドラッグする

点線を調整して スキャンしたい部分を囲みます。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

［スキャン開始］ボタンをクリックする

選択された範囲だけが Presto! PageManager® 画面に表示されます。

Presto! PageManager® 画面上で画像を調整する

補足

［プレビュー開始］ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切り取ります。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面から［スキャン開始］ボタンをクリックして画像をスキャンします。

スキャン範囲

WIAドライバを使ってスキャンする（Windows® XPのみ）

本製品のドライバはWIA対応です。ドライバにより、TWAINまたはWIA対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。
原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

あらかじめ、「Presto! PageManager®」を起動させ、［ファイル］メニューの［TWAIN対応機器の選択...］で、接続している機器の機種名（WIA-Brother xxxx）を選択しておきます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto! PageManager® 画面から をクリックする

WIAダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.60を参照してください。

給紙方法を選択する

［フラットベット］を選択した後、「プレビュー」機能を利用してスキャンする範囲を調整することができます。

必要に応じてWIAダイアログボックスで以下の項目を設定する

- 解像度
- 明るさ
- 画像の種類　など

［スキャン］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックしてPresto! PageManager® 画面に戻ります。

補足

●WIAドライバは、両面スキャン機能に対応していません。

●「Presto! PageManager®」の操作の詳細については、「Presto! PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。ユーザーズマニュアルは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Presto! PageManager® 6］－［Presto! PageManager® 6.13 ユーザーズマニュアル］を選ぶと表示されます。

●操作の詳細については、Presto! PageManager®の電子マニュアル（PDF形式）をご覧ください。

WIAダイアログボックスでの設定

① 給紙方法

［フラットベッド］は原稿台ガラスからスキャンするとき、［ドキュメントフィーダ］はADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

② スキャンする画像の種類を選択します。

③ スキャンした画像の品質の調整

ここをクリックすると、［詳細プロパティ］ウィンドウが表示されます。

④ 明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 解像度

プルダウンメニューから解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間は増えますが、画質は向上します。［100］［150］［200］［300］［400］［500］［600］［1200］の中から選択します。

⑥ 画像の種類

［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］の中から選択します。

補足

- Windows® XPで、2400/4800/9600/19200dpiの解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。
  - ①［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［スキャナ設定］－［スキャナユーティリティ］の順に選択します。
    「スキャナユーティリティ」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

● プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

原稿の表側を下にして、原稿台ガラスに置く

［給紙方法］のプルダウンメニューから［フラットベッド］（①）を選択する

3 **画像の種類を選択する（②）**

スキャンダイアログボックスの［プレビュー］ボタン（③）をクリックする

原稿全体がコンピュータにスキャンされ、ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

5 **（④）のウィンドウにてマウスの左ボタンを押しながらマウスをドラッグし、取り込みたい部分を指定する**

詳細設定が必要な場合は、［スキャンした画像の品質の調整］（⑤）をクリックする

詳細プロパティ画面が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら［OK］を押します。詳細プロパティ画面についてはP.60を参照してください。

スキャンダイアログボックスの［スキャン］ボタン（⑥）を押す

元画像中、選択された部分だけが取り込まれ、Presto! PageManager® 画面（あるいはアプリケーションソフトの画面）に表示されます。

Brother日本語OCRを使って画像をテキストに変換する

取り込んだ画像ファイルをテキストファイルに変換できます。

［スタート］メニューの［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother OCR Ver.XXX］ー［日本語 OCR］の順に選択する

ボタンをクリックする

スキャナドライバが起動され、スキャナから画像を読み込みます。

ボタンをクリックする

文字認識が行われます。

補足

- スキャナから読み込む場合は、TWAIN 対応のスキャナが接続されており、スキャナのドライバがインストールされている必要があります。また、最初に［ファイル］メニューの［スキャナの選択］で、インストールしたスキャナのドライバを選択しておいてください。
- スキャン済みの画像データがコンピュータ内にある場合は、手順３でボタンをクリックして画像ファイルを読み込みます。
- スキャンする原稿は、できるだけ汚れなどの少ないきれいなものを使用してください。正しく文字が認識される確率が高くなります。
- 認識されたテキストファイルのデータ量は、認識処理前の画像ファイルに比べて小さくなります。

スキャンボタンを利用する

操作パネル上の（Scan）を押してスキャンモードにすることで、以下の機能が本製品から直接操作できます。

- スキャン FTP
- スキャン Eメール
- スキャン イメージ
- スキャン OCR
- スキャン ファイル

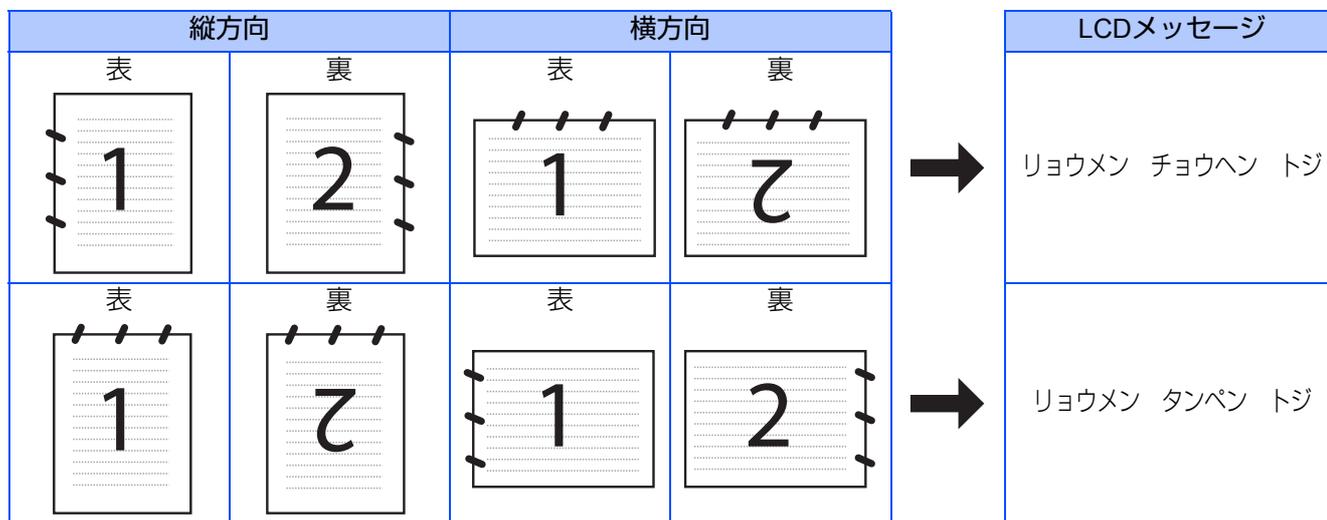
（Scan）を使用するには、あらかじめ本製品をインターフェースケーブルでコンピュータに接続しておく必要があります。
ここでは、USBまたはパラレルケーブルで接続されている場合の操作手順を説明します。
ネットワークスキャン機能については、P.68 を参照してください。

補足

●ソフトが自動的に起動しないとき
Windows® 2000/XP は、「コントロールパネル」→「スキャナとカメラ」→「（モデル名）」のプロパティ→「イベント」で、すべてのイベント（ボタン）にControlCenter2を指定します。

●自動両面スキャンをするとき（MFC-8870DWのみ）
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

自動両面スキャン（MFC-8870DWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択することで自動両面スキャンをすることができます。

スキャンEメール

この機能は、スキャンしたモノクロまたはカラー原稿を、添付ファイルとしてEメールに取り込むことができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

▲▼を押して「スキャン　Eメール」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン　FTP
 スキャン　Eメール
 スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

補足

- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- （Scan）を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくはP.116 を参照してください。
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンイメージ

カラー写真のスキャン画像を、グラフィックアプリケーションに取り込んで表示したり修正することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

▲▼を押して「スキャン　イメージ」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン　FTP
 スキャン　Eメール
 スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

OKを押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OKを押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

補足

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.116を参照してください。

スキャンOCR

原稿が文字テキストであれば、Brother 日本語OCRかPresto! PageManager®を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　OCR」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

補足

- Brother 日本語 OCR か Presto! PageManager® が起動され、画像データに OCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。
  認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。
- Brother日本語OCRをインストールしていない場合は、Presto! PageManager®のOCRが起動します。

スキャンファイル

モノクロまたはカラー原稿をスキャンしてコンピュータの指定先フォルダに保存することができます。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、P.116 を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　ファイル」を選択する

• MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
• MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

▲スキャン　FTP
　スキャン　Eメール
　スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

• USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
• USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

補足

●保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

• 保存先フォルダ

マイドキュメント¥マイピクチャ ¥Control Center 2¥Scan

マイピクチャフォルダがない場合（Windows® 98/98SE/Me、Windows NT® 4.0）は、「マイドキュメント ¥Control Center 2¥Scan」となります。

• ファイル形式

JPG

• ファイル名

CCFyyyymmdd_xxxxx

yyyy：西暦

mm：月

dd：日

xxxxx：通し番号

●ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

ネットワークスキャン機能は、本製品のスキャン機能を使ってネットワーク経由で画像をコンピュータに送ったり、保存したり、また E メールの添付ファイルとして他のコンピュータに送り届けることや、コンピュータからネットワーク経由で本製品から画像を取得することができます。

注意

■ネットワークスキャン機能を使うには、本製品にTCP/IPの設定をしておく必要があります。

- 操作パネルから設定するには ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
（ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みです。）
- ウェブブラウザから設定するには ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

ネットワークスキャン機能を使用する前に

ネットワークスキャン機能を使うには、まずスキャナドライバをインストールする必要があります。

スキャナドライバのインストール

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、自動的にドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、ドライバのインストールを継続してください。詳しくは、 かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

補足

「スキャン FTP」および「スキャン Eメール」機能は、ドライバのインストールを実施しなくても使用することができます。

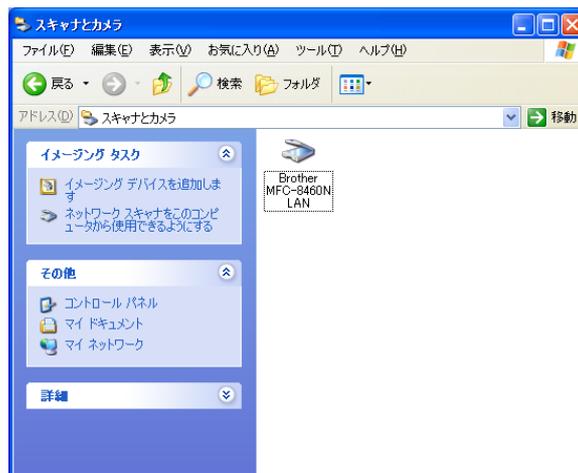
設定の変更

ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

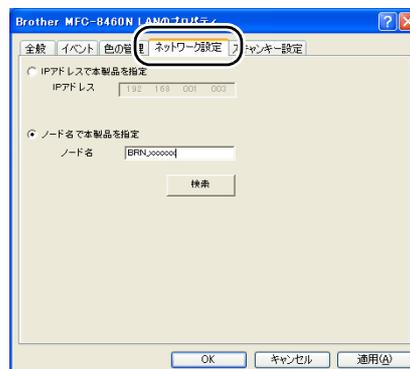
「スキャナとカメラ」アイコン スキャナとカメラ をダブルクリックする

- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］－（［プリンタとその他のハードウェア］）－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows® 98/98SE/Me/2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］を選択します。

スキャナのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。

「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

IP アドレスを更新する場合
- 本製品のIPアドレスを入力します。

名前を変更する場合
- 本製品のノード名を「ノード名」欄に入力します。

使用可能な機器一覧から指定して変更する場合
- ［検索］をクリックし、既存のLAN内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

「スキャンキー設定」タブをクリックする

スキャン画像を取り込むコンピュータの名を登録する

本製品の「スキャン」ボタンを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータの名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。

他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。

［OK］をクリックする

設定が変更されます。

スキャン画像をEメールに取り込む

この機能は、スキャン画像をEメールに取り込む機能です。いったんコンピュータに送ってからコンピュータのメーラー（電子メールを扱うソフトウェア）で送信することができます。
モノクロやカラーの原稿を、添付ファイルとしてEメールに取り込むことができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

[Scan]を押す

[▲▼]を押して「スキャン　Eメール」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン　FTP
 スキャン　Eメール
 スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

[OK]を押す

[▲▼]を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

[OK]を押す

- MFC-8460Nの場合は手順9に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順7に進んでください。

[▲▼]を押して「PC」を選択する

[OK]を押す

[▲▼]を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

[OK]を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足
- ●スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- ●[Scan]を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくはP.116を参照してください。
- ●ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャン画像をEメールで直接送る（MFC-8870DWのみ）

スキャン画像をEメールで直接送る準備

Eメールで直接送るには、本製品（送信側）の設定とメールサーバーの設定が必要です。
詳しくは、ユーザーズガイド（HTML版）「ネットワーク設定>操作パネルでネットワークの設定をする>インターネット設定」を参照してください。

受信側のメールサーバーに、メールアカウントを追加する

メールアカウントとパスワードを設定する

POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認する

通常、メールサーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をしてください。

スキャン画像をEメールで直接送る

本製品でスキャンした画像を、直接宛名を指定して送信します。スキャン画像は E メールの添付ファイルとして、モノクロはTIFFまたはPDF形式、カラーはJPEGまたはPDF形式で送信されます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　Eメール」を選択する

▲スキャン　FTP
　スキャン　Eメール
　スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

7 ▲▼を押して「Eメールデ　オクル」を選択する

8 OKを押す

9 ▲▼を押して「ガシツ　ヘンコウ」を選択する

「アドレス　ニュウリョク」を選択して OK を押すと、手順 15 へ進みます。

10 OKを押す

11 ▲▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

12 OKを押す

13 ▲▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

14 OKを押す

15 送信先の E メールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法については ユーザーズガイド（HTML 版）を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、E メールアドレスを入力することもできます。

16 スタートを押す

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

補足

手順9～11で画質を変更しない場合は、＊アドレス（ワンタッチ/スピードダイヤル）に登録された画質・ファイル形式が適用されます。

スキャン画像をコンピュータに直接送る

本製品のスキャン機能で、画像をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャン画像のデータが送られると、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータに表示します。

グラフィックソフトに送る

スキャン画像を、グラフィックソフト（画像処理ソフト）で開きます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

▲▼を押して「スキャン　イメージ」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン　FTP
 スキャン　Eメール
 スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

OKを押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OKを押す

▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

OKを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足
ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.116を参照してください。

テキスト変換（OCR）して送る

原稿が文字テキストであれば、Brother 日本語OCRかPresto! PageManager®を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［Scan］を押す

▲▼を押して「スキャン　OCR」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

［OK］を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

［OK］を押す

▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

［OK］を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●Brother 日本語 OCR か Presto! PageManager® が起動され、画像データに OCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

●Brother日本語OCRをインストールしていない場合は、Presto! PageManager®のOCRが起動します。

スキャン画像を自動でコンピュータに保存する

スキャン画像を、指定したファイル保存形式で保存します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　ファイル」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン　FTP
 スキャン　Eメール
 スキャン　イメージ゛
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する

送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント¥マイピクチャ ¥Control Center 2¥Scan
  マイピクチャフォルダがない場合（Windows® 98/98SE/Me、Windows NT® 4.0）は、「マイドキュメント ¥Control Center 2¥Scan」となります。
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxxx：通し番号

●ファイルはビットマップ（＊.BMP)、JPEG（＊.JPG)、TIFF（＊.TIF)、PNG（＊.PNG)、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャン画像をFTPサーバーに送る

この機能は、スキャン画像を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバーに送信する機能です。スキャンFTPを使用するには、送信先の情報を操作パネルから入力するか、本製品にあらかじめ登録したFTPプロファイルを選択します。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。

- プロファイル名......................................15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名...32字以内
- パスワード..32字以内
- 送信先フォルダ.......................................60字以内

FTPプロファイルを登録する

FTPプロファイルは、10件まで登録できます。

コンピュータのウェブブラウザから、本製品にアクセスする

詳細については、ユーザーズガイド（HTML 版）を参照してください。
管理者のパスワードでアクセスしてください。

「スキャン FTP」をクリックする

登録したい「プロファイル」をクリックする

FTP サーバーのプロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

「FTP サーバアドレス」に FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

6 FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

7 FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

8 スキャンした画像の送信先フォルダを入力する

送信先フォルダのパスを入力します。（例：/brother/abc/）

9 プルダウンリストから解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

10 プルダウンリストから画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

11 パッシブモードを設定する

お使いの FTP サーバーやファイアウォールの設定によって、ON または OFF に設定します。
お買い上げ時は ON に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

12 ポート番号を設定する

FTP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。
お買い上げ時は 21 番に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

FTPプロファイルを使用してスキャン画像をFTPサーバーに送信する

スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　FTP」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

▲▼を押して、登録した FTP プロファイルを選択する

OK を押す

液晶ディスプレイに「ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ」と表示されます。
FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPプロファイルは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、液晶ディスプレイ上で選択する必要があります。必要に応じて手順9、10へ進んでください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま転送されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、FTPサーバ内のROOTフォルダに転送されます。

スキャン画像をFTPサーバーに手動で送信する

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

（Scan）を押す

（▲▼）を押して「スキャン　FTP」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

（OK）を押す

（▲▼）を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

（OK）を押す

（▲▼）を押して、「シュドウ　セッテイ」を選択する

登録された FTP プロファイルがない場合は、手順 9 に進みます。

8

（OK）を押す

ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

10

（OK）を押す

ダイヤルボタンを押して転送先のフォルダ名を入力する

例：/brother/abc

12

（OK）を押す

13 ▲▼を押して、［ユーザーメイ　ニュウリョク］か［ガジツ　ヘンコウ］を選択する

- ［ﾕｰｻﾞｰﾒｲ　ﾆｭｳﾘｮｸ］を選択した場合は、手順15に進みます。
- 解像度は下記の中から選択できます。
  - ｶﾗｰ　150　dpi
  - ｶﾗｰ　300　dpi
  - ｶﾗｰ　600　dpi
  - ﾓﾉｸﾛ　200　dpi
  - ﾓﾉｸﾛ　200×100dpi

14 ▲▼を押して、画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

15 ダイヤルボタンを使用してFTPサーバーにログインするためのユーザ名を入力する

16 OKを押す

17 ダイヤルボタンを使用してFTPサーバーにログインするためのパスワードを入力する

18 OKを押す

液晶ディスプレイに「ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ」と表示されます。
FTPサーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

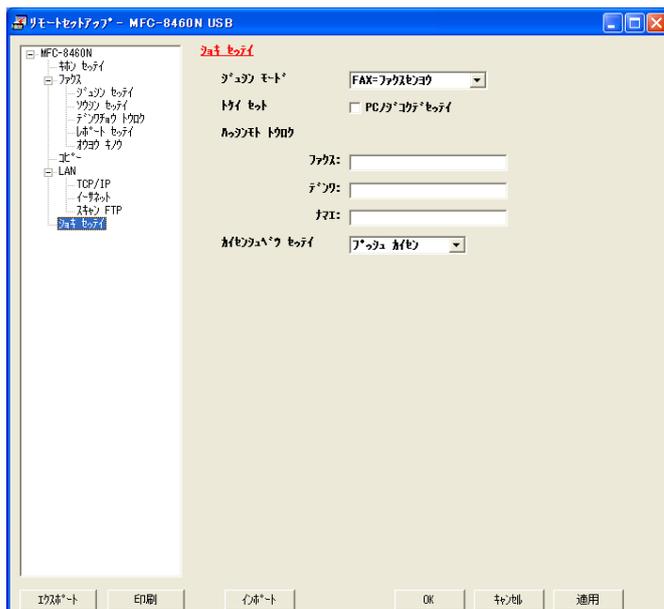
タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、手順1からやり直してください。FTPサーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の液晶ディスプレイに「ﾆﾝｼｮｳ　ｴﾗｰ」と表示されます。手順1からやり直してください。

リモートセットアップ

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をコンピュータで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［リモートセットアップ］の順に選択し、［(モデル名)］、［(モデル名) USB］または［(モデル名) LAN］を選択します。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.196 を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にコンピュータにダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- この章では、MFC-8460Nの画面を例に説明しています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのコンピュータに Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PC-FAX受信ソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- ウイルスバスター TM などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「デンワチョウ　トウロク」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド（印刷版）P.132 と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

- エクスポート、インポートの機能を使うと、本製品の設定をファイルに保存して設定内容を読み込むことができます。
- すべての設定内容を保存するには、画面左側の機能の分類の一番上にあるモデル名を選択してエクスポートをクリックします。
- 機能の分類の中から機能のトップ項目（例：ファクス）を選択した場合は、ファクスに関するすべての設定が保存されます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	－	×
	トクベツカイセン　タイオウ	－	×
	ナンバー　ディスプレイ	－	×
	キノウセッテイ　リセット	－	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×
キホン　セッテイ	モード　タイマー	－	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシンベル　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	－	×
	セキュリティ	セッテイ　ロック	×
		キノウ　ロック	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		リョウメン　インサツ※2	○
		ジュシン　スタンプ	○

※1：オプションの記録紙トレイ2（LT-5300）を増設したときにメニューが表示されます。
※2：MFC-8870DWのみ

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	○
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ/メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	−	×
	アンシン　ツウシン　モード	−	×
コピー	コピー　ガシツ	−	○
	ＦＢテキスト　ガシツ	−	○
	コントラスト	−	○
プリンタ	エミュレーション	−	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
	プリンタ　セット	−	×
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ	×
		インサツ	×
	キノウアンナイ	−	×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン	×
		ナマエジュン	×
	ツウシン　カンリ　レポート	−	×
	セッテイナイヨウ　リスト	−	×
	チャクシンリレキ　リスト	−	×
	ネットワークセッテイ　リスト	−	×
	ゴチュウモン　シート	−	×

分類	中分類	項目		設定の可否
LAN (MFC-8460N)	ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ		○
		ＩＰ　アドレス		○
		サブネット　マスク		○
		ゲートウェイ		○
		ノード　メイ		○
		ＷＩＮＳ　セッテイ		○
		ＷＩＮＳ　サーバ		○
		ＤＮＳ　サーバ		○
		ＡＰＩＰＡ		○
		ＩＰｖ６		○
	イーサネット	－		○
	スキャンＦＴＰ	－		○
	ＬＡＮセッテイ　リセット	－		×
LAN (MFC-8870DW)	ユウセンＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰセッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
			ＩＰ　アドレス	○
			サブネット　マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード　メイ	○
			ＷＩＮＳ　セッテイ	○
			ＷＩＮＳ　サーバ	○
			ＤＮＳ　サーバ	○
			ＡＰＩＰＡ	○
			ＩＰｖ６	○
		イーサネット	－	○
		ショキセッテイ　ニ　モドス	－	×
		ユウセンＬＡＮ　ユウコウ	－	×
	ムセンＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰセッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
			ＩＰ　アドレス	○
			サブネット　マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード　メイ	○
			ＷＩＮＳ　セッテイ	○
			ＷＩＮＳ　サーバ	○
			ＤＮＳ　サーバ	○
			ＡＰＩＰＡ	○
			ＩＰｖ６	○
		ムセンＬＡＮ　セッテイ	セッテイ　ウィザード	×
			ＡＯＳＳ	×

分類	中分類	項目		設定の可否
LAN（MFC-8870DW）	ムセンＬＡＮ	ムセン　ジョウタイ	セツゾク　ジョウタイ	×
			デンパ　ジョウタイ	×
			ＳＳＩＤ	×
			ツウシン　モード	×
		ショキセッテイ　ニ　モドス	－	×
		ムセンＬＡＮ　ユウコウ	－	×
	ＩＦＡＸ　セッテイ	インターネット　セッテイ	メール　アドレス	○
			ＳＭＴＰ　サーバ	○
			ＰＯＰ３　サーバ	○
			アカウント　メイ	○
			パスワード	○
		メール　ジュシン　セッテイ	ジドウ　ジュシン	○
			ポーリング　カンカク	○
			ヘッダ　インサツ	○
			エラー　メール　サクジョ	○
			ジュシン　カクニン	○
		メール　ソウシン　セッテイ	メールタイトル	○
			サイズ　セイゲン	○
			ジュシンカクニンヨウキュウ	○
		リレー　セッテイ	リレー　キョカ	○
			キョカ　ドメイン	○
			リレー　レポート	○
	スキャン　Ｅメール	カラー	－	○
		モノクロ	－	○
	スキャン　ＦＴＰ	カラー	－	○
		モノクロ	－	○
	タイム　ゾーン	－	－	○
	ＬＡＮセッテイ　リセット	リセット	－	○
		キャンセル	－	×

補足

●各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）P.196を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。
- ワンタッチダイヤル：最大40件（1～40）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は15桁まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号、またはメールアドレス（MFC-8870DWのみ）と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL　バンゴウ」※に電話番号、ファクス番号またはメールアドレス（MFC-8870DW のみ）を入力する

※ MFC-8870DW の場合は、「ファクス／デンワ／E メール」

種別を選ぶ

- MFC-8460Nの場合：「ファクス／デンワ」のみ
- MFC-8870DWの場合：「ファクス／デンワ」、「インターネットファクス」または「Eメール」

「アイテサキ　メイショウ」に相手先の名前を入力する

グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

[OK] をクリックする

- 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～20」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

「アイテサキ　メイショウ」にグループ名を入力する

グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスをONにする

例）グループ2に登録する場合は、「G2」をONにします。

［OK］をクリックする

- 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

PC-FAX

PC-FAXを使用する前に

PC-FAXを利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送受信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PC-FAXのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P.98 を参照してください。
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P.93 を参照してください。

補足

●PC-FAXは、モノクロのみ対応しています。

●送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくと便利です。

●Windows® 2000/XPをお使いの方はアドミニストレータ（Administrator）権限で使用してください。

個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX 設定］の順に選択する

個人情報を入力する

［OK］をクリックする

個人情報が保存されます。

PC-FAX送信の設定

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで行います。

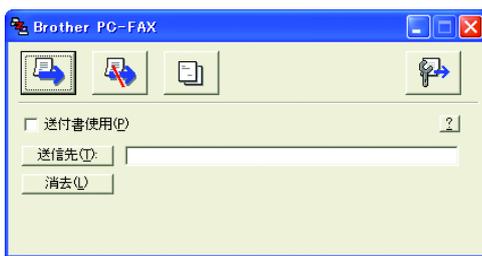
① ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX等の内線接続で必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このボックスをチェックします。

③ 送信操作画面

［シンプルスタイル］か［ファクススタイル］のどちらかを選択できます。

<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>

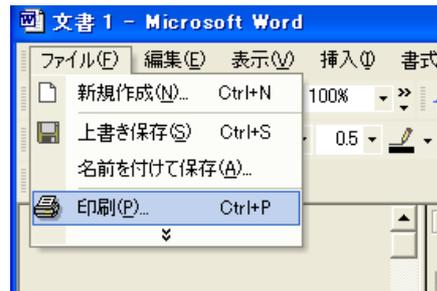
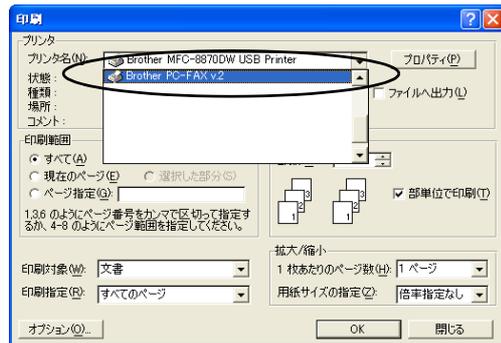
④ ネットワーク PC-FAX

PC-FAX機能を使ってメールアドレスにファクス送信するときは、［使用する］をチェックしておく必要があります。

ファクスをコンピュータから送信する

ファクススタイル画面を使用する

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX］を選択して、［OK］をクリックする

以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する

- ダイヤルパッドをクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタンのいずれかをクリックする。
- ［アドレス帳］ボタンをクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.97 を参照してください。

［送信］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

補足

●ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother　PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。

●ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

①送付書使用
　ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合にクリックします。

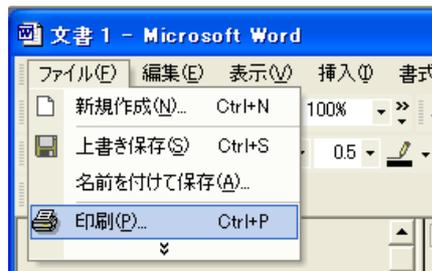
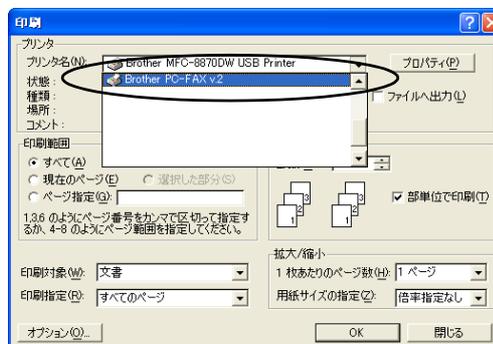
②送付書の作成
　送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。P.106 を参照してください。

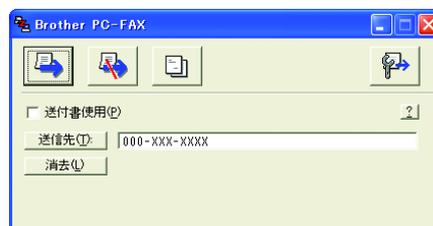
③消去
　ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル
　ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］ボタンを押すたびに最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、［送信］ボタンをクリックします。

シンプルスタイル画面を使用する

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX］を選択して、［OK］をクリックする

［送信先］に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、［送信先］ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.97 を参照してください。

送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、［送付書使用］の設定を選択する

送付書の作成についてはP.106 を参照してください。

をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

- ●シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- ●相手のファクス番号は、［送信先］ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- ●ファクス番号を間違って入力したときには、［消去］ボタンをクリックします。
- ●をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。

アドレス帳を利用する

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPC-FAXアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

「Brother PC-FAXアドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。P.98 を参照してください。

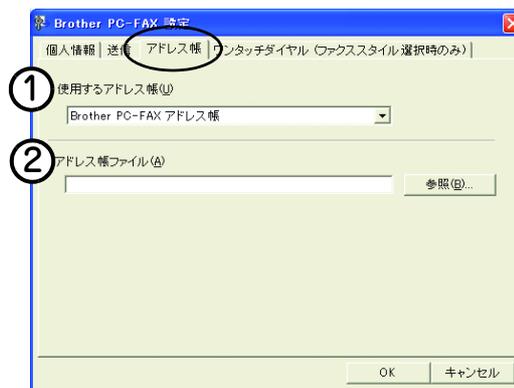
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［アドレス帳］タブで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX 設定］の順に選択する

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする

①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Outlook Express のアドレス帳を利用する場合は、「Outlook Express アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選びます。

［OK］をクリックする

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

アドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］の順に選択する

右の画面が表示されます。

をクリックする

右の画面が表示されます。

メンバーの情報を入力する

［名前］の入力は必須です。

［決定］をクリックする

メンバーの情報が保存されます。

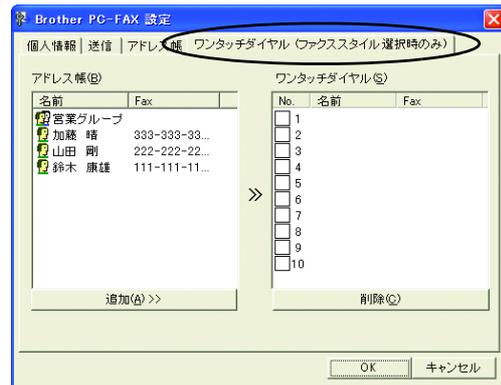
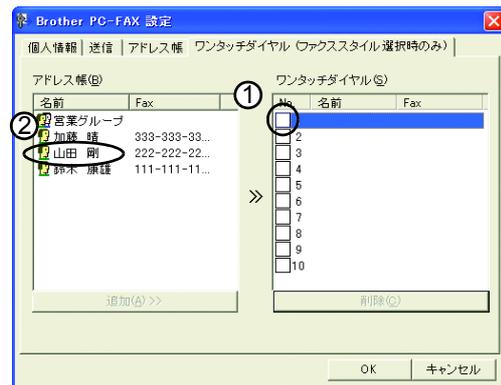
補足

- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。
- アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。
登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）をクリックするだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する

［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする

［ワンタッチダイヤル］ボックスの番号をクリックする（①）
続けて、［アドレス帳］ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする（②）

［追加（A）>>］をクリックする
登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

［OK］をクリックする
ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックする

［削除］をクリックする

ワンタッチダイヤルを使用するには、［送信］ダブの［送信操作画面］で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

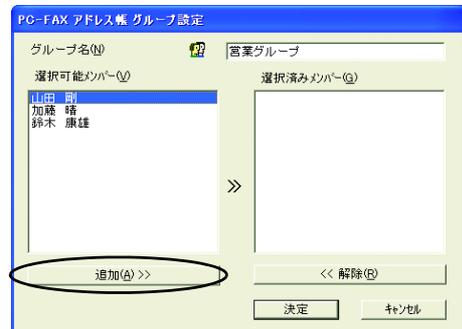
同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する

同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数のメンバーをグループにまとめることができます。
同報送信は、1回の操作で1つのグループダイヤルのみ選択することができます。

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、

［グループ名］にグループ名を入力する

［選択可能メンバー］ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、［追加（A）>>］をクリックする

追加したメンバーは、［選択済みメンバー］ボックスに一覧表示されます。

メンバーの追加後、［決定］をクリックする

1つのグループダイヤルに最大50件までメンバーを登録できます。また、グループダイヤルは最大256個まで登録できます。

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択する

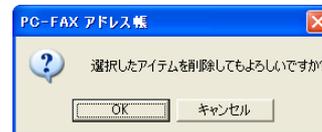
をクリックする

相手先またはグループ情報を編集する

［決定］をクリックする

変更した相手先またはグループ情報が保存されます。

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択する

をクリックする

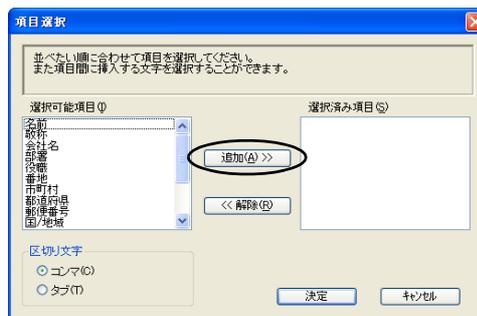
［OK］をクリックする

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV 形式のファイルにエクスポートすることができます。また、選択されたメンバーの vCard（電子名刺）を作成し、送信者のすべての送信電子メールに添付することもできます。

［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［エクスポート］－［Text］の順にクリックする

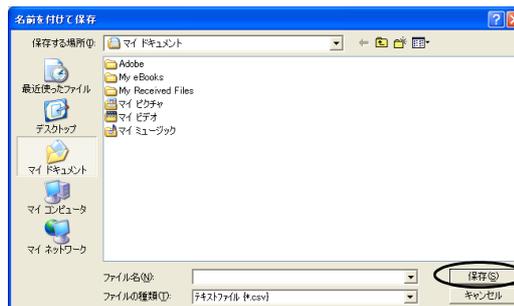
［vCard］を選択した場合は、手順 5 に進みます。

エクスポートする項目を選んで、［追加 >>］をクリックする

［区切り文字］で［タブ］または［コンマ］を選択する

この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。

［決定］をクリックする

データがエクスポートされます。

ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする

補足

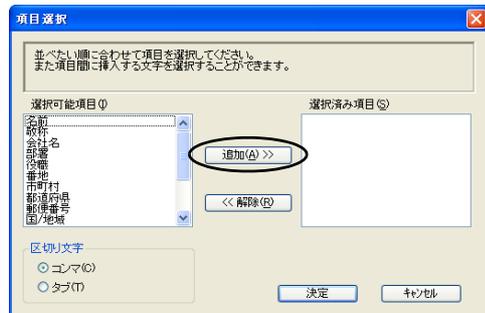
- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- 手順1で［vCard］を選択した場合は手順5に進み、［ファイルの種類］は［vCard（＊.vcf）］になります。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。
- vCard（電子名刺）には、送信者の連絡先情報が格納されています。
- vCardを作成する場合、メンバーを最初に選択しなければなりません。

アドレス帳にインポートする

CSV形式のファイルまたはvcf形式のファイル（vCards：電子名刺）を、アドレス帳にインポートできます。

PC-FAX アドレス帳の画面で、［ファイル］－［インポート］－［Text］の順にクリックする

［vCard］を選択した場合は、手順５に進みます。

［選択可能項目］欄からインポートする項目を選択してから、［追加（A）>>］をクリックする

インポートするファイル形式により、［区切り文字］で［タブ］または［コンマ］を選択する

［決定］をクリックする

データがインポートされます。

ファイル名を入力して、［開く］をクリックする

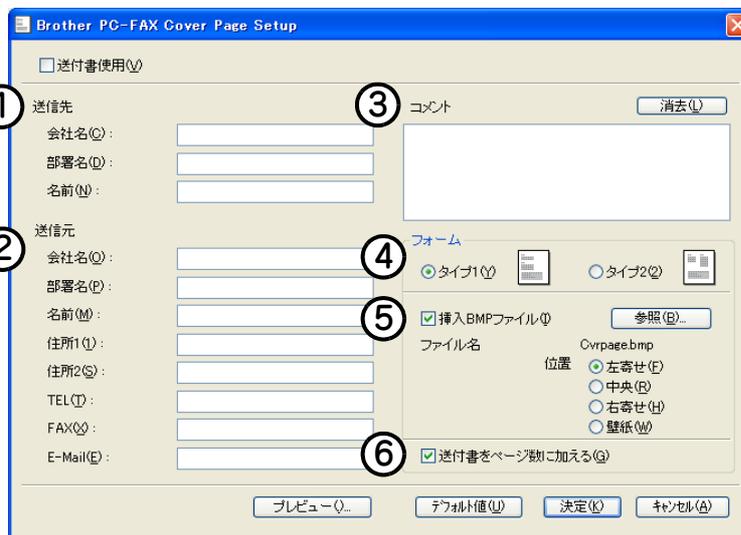
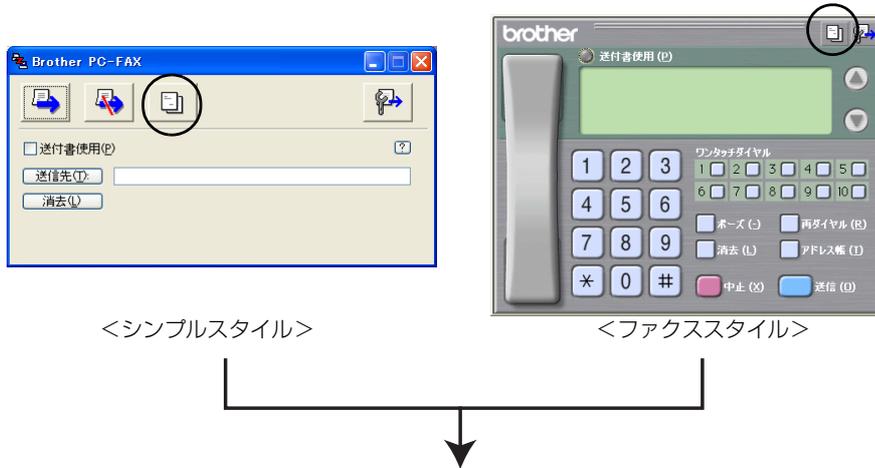
補足

● 手順1で［vCard］を選択した場合は手順5に進み、［ファイルの種類］は［vCard（＊.vcf）］になります。

● インポートする項目を選択する場合は、元のファイル項目の並び順に合わせて選択してください。

送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。

＜シンプルスタイル＞　＜ファクススタイル＞

① 送信先

送信先の情報を入力します。

② 送信元

送信元の情報を入力します。

③ コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④ フォーム

送付書のスタイルを選択します。

⑤ 挿入 BMP ファイル

会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックします。
［参照］ボタンをクリックしてBMPファイルを選択してから、ビットマップファイルの配置を選択します。

⑥ 送付書をページ数に加える

このボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

ファクスをコンピュータで受信する

受信したファクスを画像データとしてパソコンに保存します。

注意

■ファクスを受信したとき、コンピュータの電源が入っていなかったり、コンピュータと接続されていない場合は、本製品に受信データを記憶します。

■PC-FAX受信を使用する場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンしてください。

■Windows NT® 4.0をご使用の場合は、ネットワークPC-FAX受信を使用することはできません。

■コンピュータにファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか、UDPのポート137/54926を有効に設定してください。

本製品の設定をする

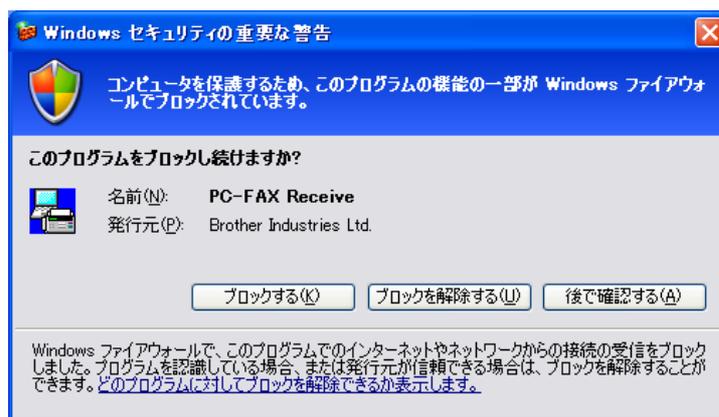
PC-FAX受信を起動する前に、本製品の設定をする必要があります。ユーザーズガイド（印刷版）P.122 を参照して設定してください。

[PC-FAX受信] を起動する

[スタート] メニューの、[すべてのプログラム（プログラム）] − [Brother] − [(モデル名)] − [PC-FAX 受信] − [(モデル名)] の順で選択する

タスクバー上にPC-FAXのアイコン 10:40 が表示されます。

補足

Windows® XP SP2をご使用の場合は、PC-FAX受信を起動すると［Windowsセキュリティーの重要な警告］が表示されることがあります。その場合は［ブロックを解除する］を選択してください。

[PC-FAX受信] の設定をする

タスクバー上のPC-FAXアイコン を右クリックし、「受信設定」をクリックする

「Brother PC-FAX 受信設定」ダイアログが表れます。

● Brother PC-FAX 受信設定 ダイアログ

①ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす場合はチェックします。

②スタートアップに登録する

このボックスをチェックすると、コンピュータを起動する際に自動的に［PC-FAX受信］が起動されます。

③ネットワーク設定

ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IPアドレスやノード名などの設定ができます。

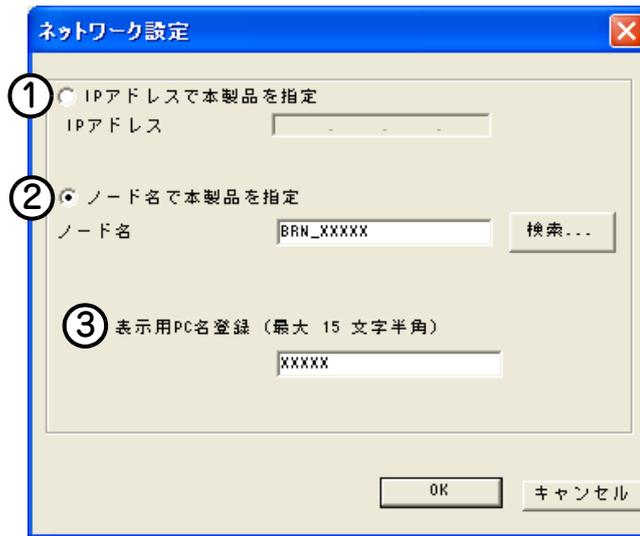
補足

- ●受信FAXはMy Documents¥My PageManager¥faxesフォルダに保存されます。（My Documentsより上のフォルダ構成はご使用のコンピュータにより異なります。）
- ●Windows NT® 4.0をお使いの方は、PC-FAX受信設定ダイアログに受信FAXを保存するフォルダを指定する画面が表示されます。任意のフォルダに受信FAXを保存することができます。
- ●PC-FAX受信ソフトウェア起動中はリモートセットアップは使用できません。

ネットワーク［PC-FAX受信］の設定をする

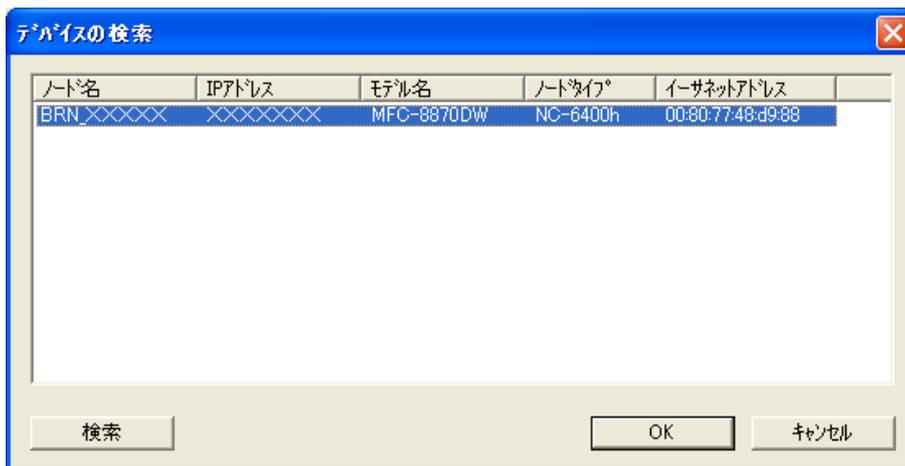
「Brother PC-FAX 受信設定」ダイアログの［ネットワーク設定］をクリックする

「ネットワーク設定」ダイアログが表示されます。

● ネットワーク設定 ダイアログ

① IP アドレスで本製品を指定

本製品のIPアドレスを入力してください。

②ノード名で本製品を指定

本製品のノード名を入力するか、［検索］をクリックし［デバイスの検索］ダイアログボックスからご使用の製品を選択してください。

③表示用 PC 名登録

本製品のLCD画面に表示されるコンピュータ名を登録することができます。

新規PC-FAX受信したメッセージを確認する

PC-FAXを受信すると青色のアイコン、がタスクバー上で交互に表示されます。
PC-FAX受信後は、が表示されます。
受信したメッセージを読み終わると、アイコンが緑色に変わります。

Presto! Page Manager® を起動します。

フォルダ「Faxes」を開く

新規のファクスをダブルクリックする

新規のファクスが開き、メッセージを確認することができます。

補足

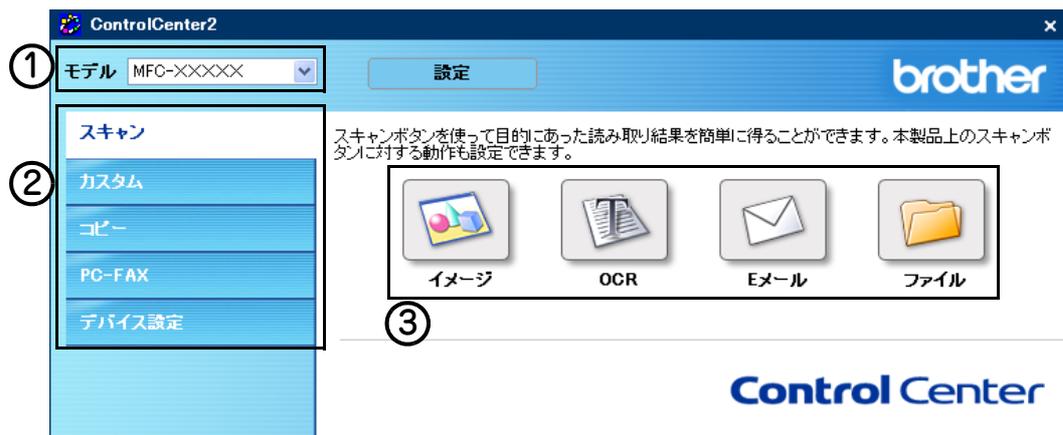
- 受信日時がファイル名として表示されます。
- Windows NT® 4.0 をお使いの方は、Presto! Page Manager® がインストールされませんので、上記操作を行ってもPC-FAX受信メッセージは表示されません。
  PC-FAX機能で受信したデータは、PC-FAX受信設定ダイアログ内で保存先に指定したフォルダに保存されます。このフォルダ内の受信データは、Windows® 付属のImagingなどのViewerソフトで確認することができます。

その他の便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PC-FAXなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の基本操作

ControlCenter2では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。

① モデル名を選択する

ネットワーク接続などで複数のブラザー機器が接続されているときは、操作するモデル名を選択します。

② 機能タブをクリックする

スキャン、PC-FAXなど機能の種類を選択します。

③ 使用する機能のボタンをクリックする

機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選択します。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。
コンピュータと本製品の接続方法によって表示されるボタンの数は変わります。

補足

［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

使用できる機能

ControlCenter2画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。

① スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.115 を参照してください。

② カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.117 を参照してください。

③ コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.119 を参照してください。

④ PC-FAX

スキャンしたデータを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.120 を参照してください。

⑤ デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.121 を参照してください。

補足

Windows NT® をお使いの方は、ControlCenter2からPC-FAXを起動することができません。［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX送信］－［PC-FAX設定］、［PC-FAXアドレス帳］、または［PC-FAX受信］を選択します。

ControlCenter2を起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［ControlCenter2］を選択する

ControlCenter2 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

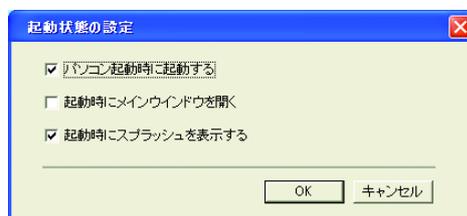
起動時の動作を設定する

コンピュータを起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

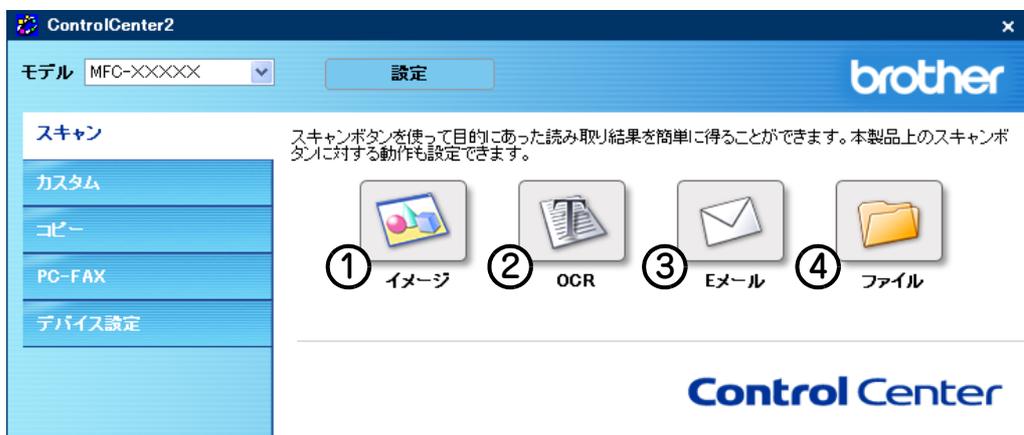
タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2 が起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
  ControlCenter2 が起動し、メインウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

［OK］をクリックする

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、コンピュータで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにコンピュータの指定したフォルダに保存します。

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。
ファイル形式－保存したいファイル形式をファイル形式のプルダウンメニューから選択することができます。

- Windows® ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF－非圧縮（*.TIF）
- TIFF－圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－非圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

各ボタンを右クリックして表示されるメニューから［設定］を選択する

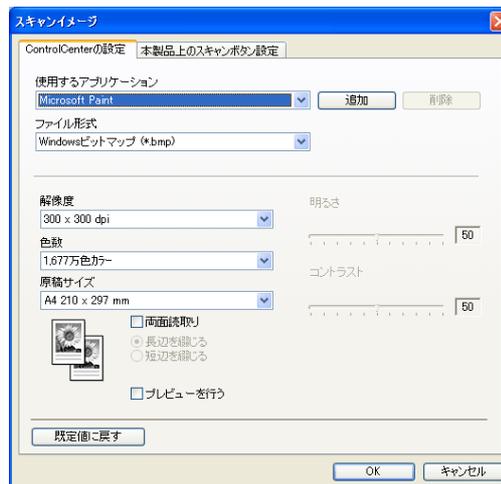
［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する

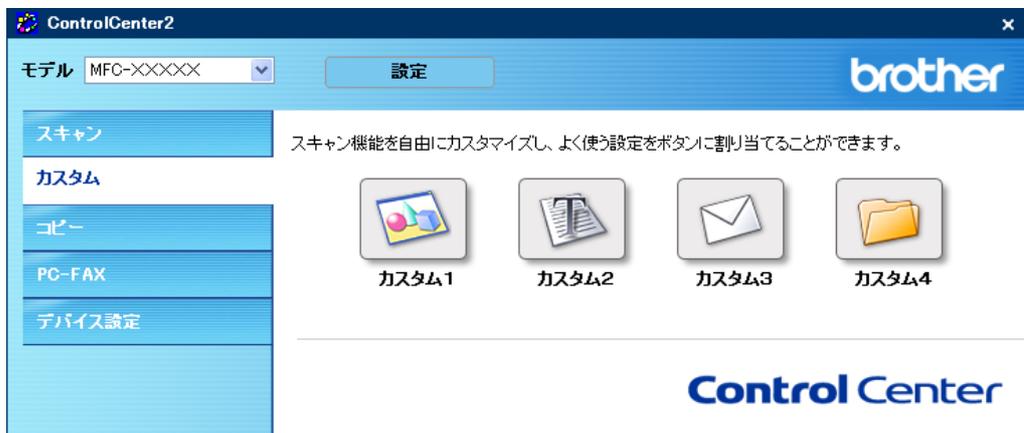
- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本体スキャンボタンの設定］タブをクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合

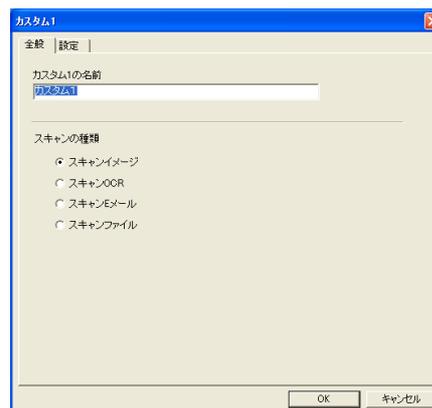
［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。

よく使う設定を登録する

ボタンを右クリックして［設定］を選択する

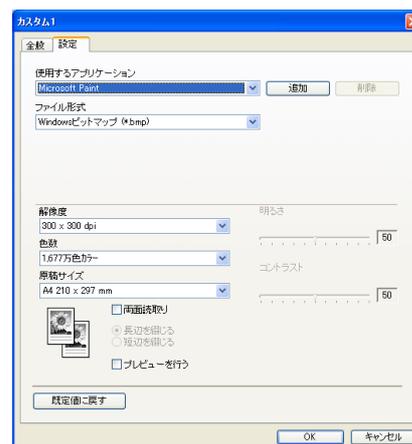
「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

「カスタムの名前」に名前を入力する

スキャンの種類を選択する

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」から選びます。

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

ボタンを右クリックして［設定］を選択する

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

「コピーの名前」に名前を入力する

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

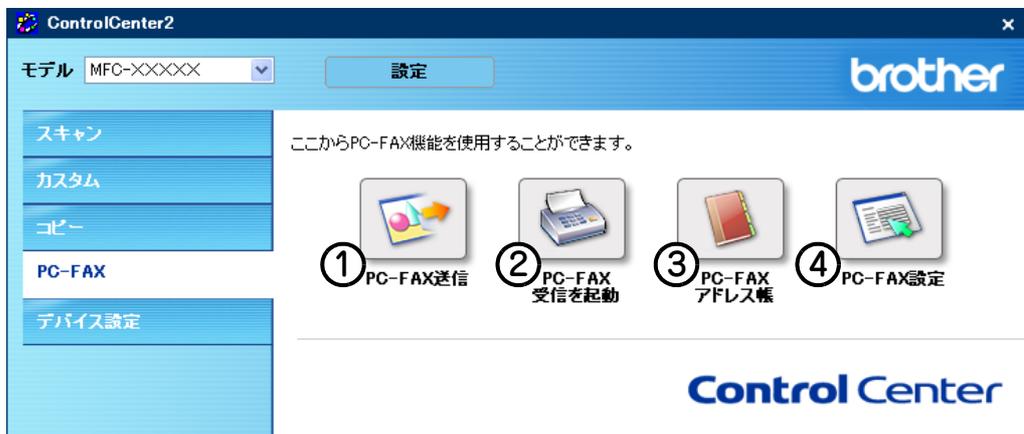
設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってコピーが実行されます。

PC-FAX

スキャンしたデータを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、コンピュータで内容を確認することもできます。

① PC-FAX 送信

スキャンしたデータをPC-FAX送信します。
右クリックでスキャンするデータの設定ができます。

PC-FAX 送信の操作については、P.94 またはP.96 を参照してください。

② PC-FAX 受信を起動

ファクスをコンピュータで受信するときにクリックします。ファクスを受信すると、ボタンが に変わります。

PC-FAX 受信の操作については、P.107 を参照してください。

PC-FAX受信設定についてはP.108 を参照してください。

③ PC-FAX アドレス帳

PC-FAXアドレス帳に相手先を登録します。

PC-FAXアドレス帳の操作については、P.97 を参照してください。

④ PC-FAX 設定

PC-FAXを送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。

個人情報の登録については、P.92 を参照してください。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

① リモートセットアップ

コンピュータ上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.83 を参照してください。

② 電話帳

コンピュータ上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくはP.89 を参照してください。

③ ステータスモニタ

コンピュータ上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくはP.23 を参照してください。

Macintosh®編

1章

プリンタとして使う

Macintosh®でできること

お使いいただいているMac OS®のバージョンによって本製品で使用できる機能が異なります。

機能＼OS	Mac OS® 9.1〜9.2	Mac OS® X10.2.4以降
プリンタ	○	○
スキャナ※	○	○
Presto! PageManager®	○	○
PC-FAXソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	×	○
ネットワークリモートセットアップ	×	○
ControlCenter2	×	○
ステータスモニタ	×	○

ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。
※Mac OS® 9.1〜9.2はネットワークスキャナには対応していません。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Apple社製Macintosh®のUSBポート搭載機で、Mac OS® 9.1～9.2、Mac OS® X 10.2.4以降に対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Mac OS®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
Macintosh® との接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でも Macintosh® からのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高11枚の両面印刷／24枚の片面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 両面印刷（MFC-8870DW のみ）

用紙の両面への印刷指定ができます。省資源、経費節減に有効です。

● 1200 × 1200dpi 出力

普通紙に1200×1200dpiの解像度で印刷します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

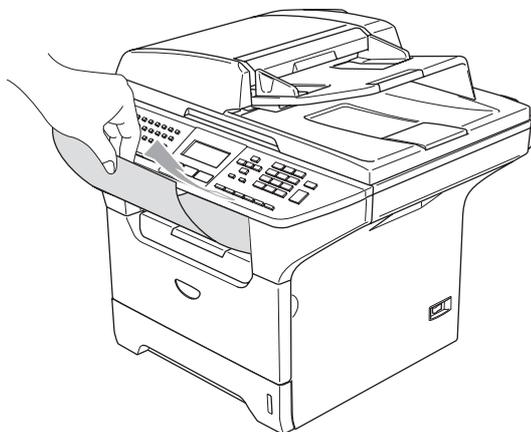
● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、OHPフィルムおよびはがきなどに対応します。

● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、ユーザーズガイド（HTML 版）を参照してください。

補足

- ●解像度などの設定については P.136 を参照してください。
- ●記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド（印刷版）P.36 を参照してください。
- ●印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

- ●本製品が Macintosh® からのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのは Macintosh® の印刷終了後です。また、Macintosh® から印刷中にファクスを受信すると、Macintosh® の印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

■ご使用のソフトウェアの種類やMacintosh®の環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。
■用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。
■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。
■多目的トレイから用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に前面の用紙以外を押さえてください。

印刷する

片面に印刷する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］または［ページ設定］を選択する

用紙サイズや印刷向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

ダイアログボックスにて［プリント］をクリックする

ステータスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する（MFC-8870DWのみ）

両面印刷できるのは、A4サイズのみです。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

ポップアップメニューから［レイアウト］を選択する

両面プリントの［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択する

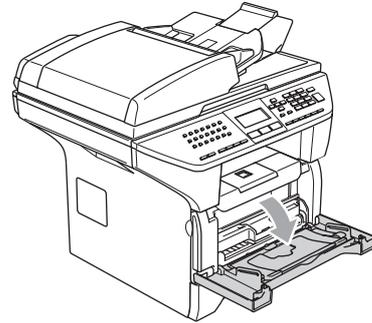
［プリント］をクリックする

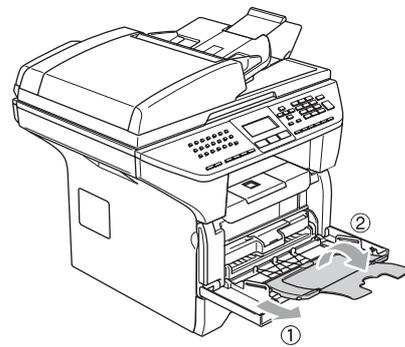
ステータスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

多目的トレイを使用して印刷する

本製品の前面には、多目的トレイがあります。多目的トレイに用紙を入れると、自動的に多目的トレイモードになります。

多目的トレイを開く

必要に応じて、サブトレイを開きます。

印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする

記録紙ガイドの凸部までの枚数の記録紙をセットしてください。

記録紙ガイドリリースボタンを押しながら、記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

5 ［プリント］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択する

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［プリント］をクリックする

ステータスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

官製はがきに印刷する

官製はがきを印刷するときに、印刷された官製はがきが排紙トレイから滑り落ちたり、印刷された官製はがきの反りが気になる場合は、はがき印刷サポートを取り付けてから印刷してください。

はがき印刷サポートの取付方法

はがき印刷サポートを排紙トレイから挿入する

右の図のように正しい向きで挿入してください。

「カチッ」と音がしてはがき印刷サポートが固定されるまで奥へ押し込む

注意

A4普通紙などを印刷するときは、はがき印刷サポートを取り外してください。また印刷された官製はがきは、すぐに取り除くことをお勧めします。

はがき印刷サポートの取り外し方

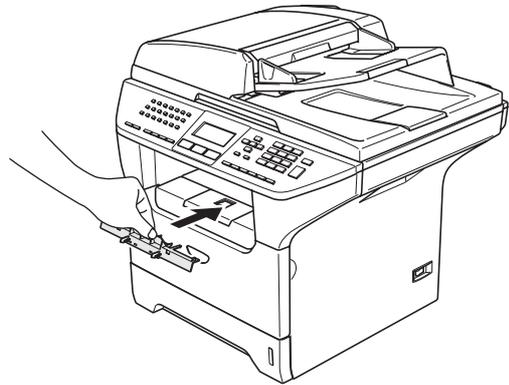
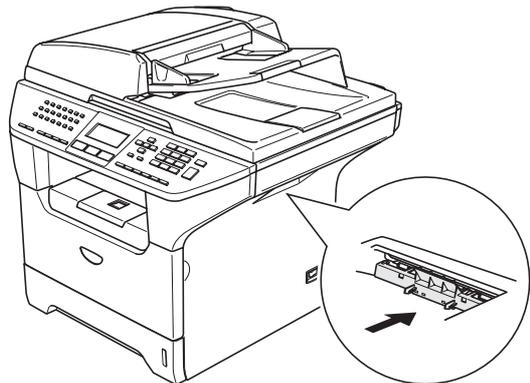
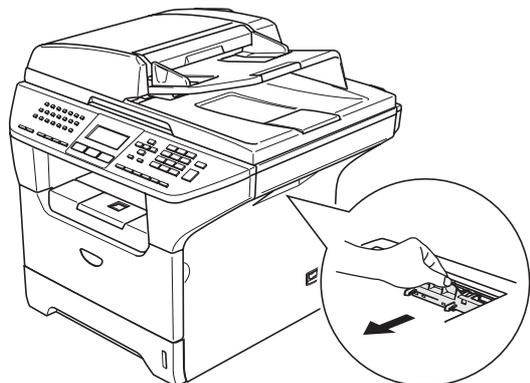
はがき印刷サポートの上部をつまみ、手前に傾けながら引き抜く

操作パネルからの操作

セキュリティ印刷をします。

セキュリティ　キャンセル

Print

本製品のメモリーに残るデータおよび印刷中のデータをクリアします。

セキュリティ印刷をする

Macintosh® から本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信して即印刷をすると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、Macintosh®側のプリンタドライバでパスワードを設定します。詳しくは、P.138 を参照してください。
パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消失します。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。
データ受信後の印刷は、以下の操作で行います。

セキュリティ を押す

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データガ　アリマセン」と表示されます。

▲▼ を押してユーザーを選択し、OK を押す

セキュリティ　プリント
ナマエ　？
▲　KOIZUMI
▼　SAKAI
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン

▲▼ を押して印刷したいデータを選択し、OK を押す

4桁のパスワードを入力し、OK を押す

セキュリティ　プ゜リント
TEST1
パ゜スワート゛：XXXX
ニュウリョク&OKボ゛タン

▲▼ を押して「プリント」を選択し、OK を押す

- 印刷を開始します。
- 印刷をしないでデータを削除する場合は、▲▼ を押して「ショウキョ」を選択し、OK を押す

セキュリティ　プ゜リント
TEST1
▲　プ゜リント
▼　ショウキョ
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン

補足

- セキュリティ印刷で同時にアクセスできるユーザは、最大10名までです。
- 1ユーザがセキュリティ印刷できるジョブ数は3件までです。
  3件以上のセキュリティ印刷を行う場合は、未処理のジョブを印刷してから行ってください。

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

キャンセル を押す

メモリー内のデータが消去されます。

エミュレーションサポート

印刷データを受け取ったとき、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷することができます。下記のエミュレーションモードが自動で選択されます。

● HP LaserJet モード

HP LaserJet モード（HP モード）は、ヒューレット・パッカードLaserJet レーザープリンタのPCL6 言語互換のエミュレーションモードです。

アプリケーションソフトがヒューレット・パッカード LaserJet レーザープリンタの PCL6 言語に対応している場合は、このモードを使用すると、最も品質のよい印刷が可能です。

● BR-Script 3 モード

BR-Script 3 モードは、当社独自の言語とPostScript® 言語の解析プログラムで構成されたエミュレーションモードです。
レベル3 のPostScript® に対応したテキストやグラフィックスの印刷が可能です。

PostScript のコマンドに関する技術的な情報は、下記の文献を参照してください。

- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Reference, third Edition. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1999. ISBN: 0-201-37922-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Program Design. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1988. ISBN: 0-201-14396-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Tutorial and Cookbook. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1985. ISBN: 0-201-10179-3

● EPSON FX-850 モード

EPSON FX-850モードは、ドットマトリクスプリンタ用の業界基準を準拠するためのエミュレーションモードです。
ドットマトリクス対応プリンタとして印刷する必要がある場合は、このモードを使用してください。

エミュレーションモードの設定

メニュー、4 GHI、1 の順に押す

▲▼ で選択して OK で決定することも可能です。

▲▼ を押して「ジドウ」、「HP LaserJet」、「BR-Script 3」または「EPSON FX-850」を選択する

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

OK を押す

エミュレーションモードが登録されます。

停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、1 の順に押す

▲▼で選択して OK で決定することも可能です。

スタート を押す

フォントリストが出力されます。

停止/終了 を押す

プリント設定内容リストの出力

現在のプリント設定内容を印刷できます。

メニュー、4 GHI、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲▼で選択して OK で決定することも可能です。

スタート を押す

プリント設定内容が出力されます。

停止/終了 を押す

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

メニュー、4 GHI、3 DEF の順に押す

▲▼で選択して OK で決定することも可能です。

1 を押す

プリント設定内容が初期化されます。

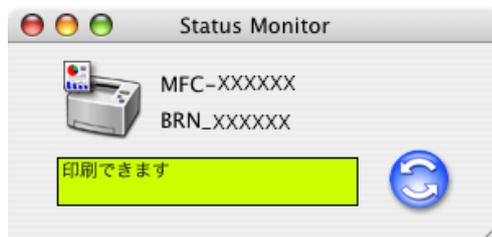
停止/終了 を押す

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のMacintosh®からステータスモニタで本製品の印刷状況などを確認できます。

■Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合は、この機能は使用できません。

ステータスモニタを起動する

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［Brother Status Monitor］アイコンをクリックすると、ステータスモニタが起動し、ステータスモニタウィンドウが表示されます。
ControlCenter2を使ってステータスモニタを起動することができます。詳しくはP.193を参照してください。

印刷状況の更新

をクリックすると、ご使用のMacintosh®と本製品が通信を開始し、現在の印刷状況を取得します。

更新間隔の変更

印刷状況の自動更新間隔を変更することができます。

メニューバーの［Brother Status Monitor］から［環境設定］を選択する

［Preferences］ダイアログボックスが表示されます。

［入］にチェックが入っていることを確認して、［リフレッシュ間隔］に数値を入力する

［OK］をクリックする

ウインドウの格納と表示

- ステータスモニタ起動後、ステータスモニタウインドウを格納（非表示）するには、メニューバーの［Brother Status Monitor］から［Brother Status Monitorを隠す］を選択します。
- ステータスモニタ格納後、再度ステータスモニタウインドウを表示するには、ドックのをクリックします。また、ControlCenter 2のデバイス設定タブからステータスモニタをクリックしてもウインドウが表示されます。

Brother Status Monitor　コントロール
Brother Status Monitorについて
環境設定
サービス
Brother Status Monitor を隠す　⌘H
ほかを隠す　⌥⌘H
すべてを表示
Brother Status Monitor を終了　⌘Q

ステータスモニタの終了

ステータスモニタを終了するには、メニューバーの［Brother Status Monitor］から［Brother Status Monitorを終了］を選択します。

ウェブブラウザを使用して本製品にアクセスする

- 標準のウェブブラウザで HTTP（Hyper　Text　Transfer　Protocol）を使用して、本製品を管理することが出来ます。詳しくは ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
- ステータスモニタウインドウのをクリックするとウェブブラウザを使用して本製品にアクセスすることができます。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバで設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。
ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択する

［対象プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。
以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

設定が終わったら、［OK］をクリックする

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。

ポップアップメニューから［印刷設定］を選択する

以下の項目が設定できます。

①基本設定
- 解像度
- 用紙媒体

②拡張機能
- 印刷品質

各項目を設定する

設定内容の詳細はP.135を参照してください。

［プリント］をクリックする

印刷が開始されます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

［基本設定］画面での設定項目

① 解像度

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- 300 dpi
- 600 dpi
- HQ1200
- 1200 dpi

② 用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙（厚め）
- 普通紙
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。
市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。
ラベル、官製はがきなど厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙（ハガキ）］を選択します。［厚紙（ハガキ）］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。
OHPフィルムには［OHP］を選択します。
再生紙には［再生紙］を選択します。

③ トナー節約モード

印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。（拡張機能の印刷品質で「きれい（2400dpi 相当）」を選択した場合は操作できません。）

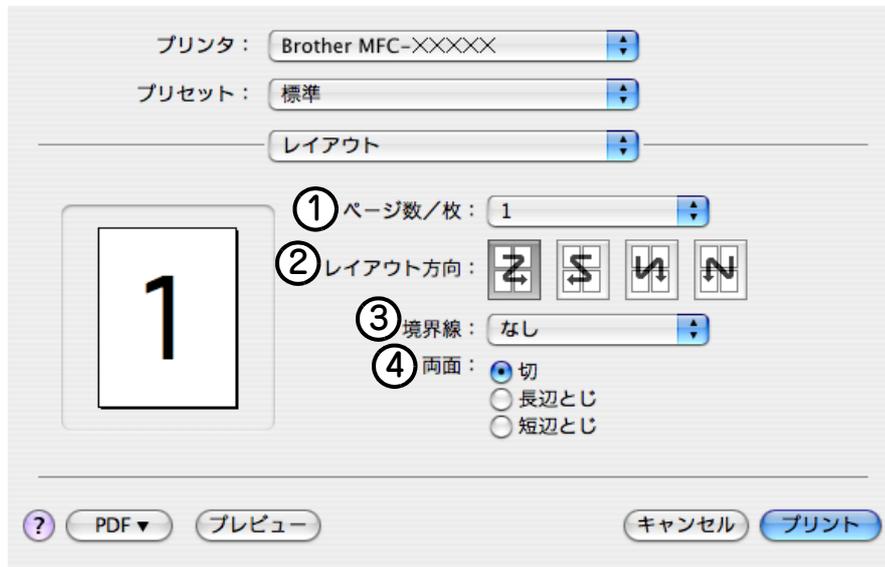
[拡張機能] 画面での設定項目

① 印刷品質

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- Brother写真
- Brotherグラフ／テキスト
- 一般設定

その他の設定内容

［レイアウト］での設定項目

① ページ／枚

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷することができます。
1枚の用紙に印刷するページ数を「1」、「2」、「4」、「6」、「9」、「16」から選択します。

② レイアウト方向

複数ページのレイアウト方向を選択します。

③ 境界線

複数ページを1枚の用紙に印刷する場合、各ページに仕切り線を挿入することができます。
仕切り線のタイプを「なし」、「極細線」、「細線」、「極細2本線」、「細2本線」から選択します。

④ 両面（MFC-8870DW のみ）

両面プリントをした際のとじ方を選択します。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

［セキュリティ印刷］での設定項目

セキュリティ印刷をする場合のパスワードを設定します。パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。セキュリティ印刷の詳細についてはP.129を参照してください。

［セキュリティ印刷］チェックボックスをチェックして、ユーザ名、印刷ジョブ名、およびパスワードを入力します。
本製品に転送した印刷データを削除する場合も、ここで設定したパスワードで削除します。

注意

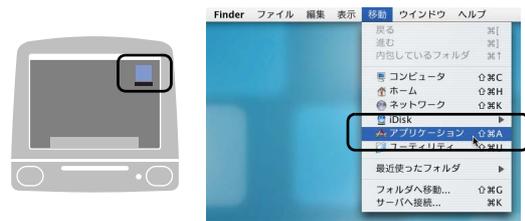
- ユーザ名・印刷ジョブ名は、半角英数字のみ可能です。
- パスワードは4桁の数字で入力してください。

BR-Script3プリンタドライバの設定をする

BR-Script3プリンタとして使用するには、本製品のエミュレーションモードを「BR-Script3」に設定する必要があります。詳しくは、P.130 を参照してください。
BR-Script3プリンタドライバは、PC-FAX機能には対応していません。

Mac OS® X 10.2.4以降ユーザーの方

USB接続しているMac OS® Xは、1つのプリンタドライバのみ登録することができます。すでに［プリンタリスト］にブラザープリンタドライバが登録されている場合は、いったんドライバを削除してBR-Script3プリンタドライバをインストールする必要があります。

［移動］メニューの［アプリケーション］を選択する

［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックする

［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする

Mac OS® X 10.2.X の場合は、［プリントセンター］をダブルクリックします。

［追加］をクリックする

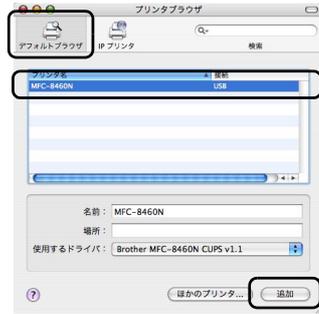
Mac OS® X 10.4 の場合は、手順 6 に進みます。

［USB］を選択する

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

［モデル名］を選択し、［追加］をクリックする

Mac OS® X 10.2.4～10.3.X

Mac OS® X 10.4

［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］を選択する

Mac OS® X 10.2.X の場合は、［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択します。

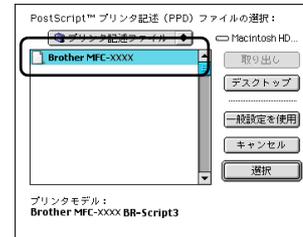
Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

Mac OS® 9.1～9.2ユーザーの方

1 デスクトップの［Macintosh HD］から［Applications］－［ユーティリティ］－［デスクトップ･プリンタ Utility］を選択する

2 ［プリンタ（USB)］を選択し、［OK］をクリックする

3 「PostscriptTM プリンタ記述（PPD）ファイル」の［変更 ...］をクリックする

4 モデル名を選択して［選択］をクリックする

5 「USB プリンタの選択」の［変更 ...］をクリックする

6 ［モデル名］を選択し、［OK］をクリックする

モデル名を確認して［作成 ...］をクリックする

モデル名を入力して［保存］をクリックする

メニューバーの［ファイル］から［終了］を選択する

セットアップは完了です。

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をスキャナとして使用する場合は、付属のCD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。
また、スキャナを便利に使いこなすためにPresto! PageManager®の使用をおすすめします。
Presto! PageManager® を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

補足

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- 「Presto! PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。

スキャナとして使う

TWAINドライバを使ってスキャンする

Macintosh® からスキャンする場合は、TWAIN ドライバを使用し、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto! PageManager®、Adobe Photoshop®など）から実行します。本製品がDevice Selectorで選択されていることを確認してください。

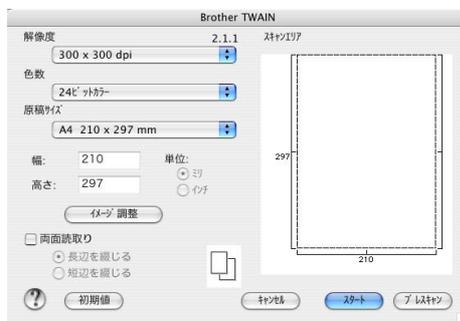
Macintosh® を起動してアプリケーションソフトを起動する

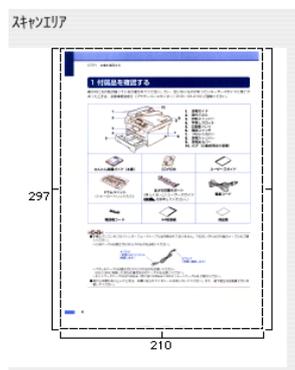
ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Brother TWAIN のスキャナウィンドウを表示させる

お使いのアプリケーションソフトウェアによってメニューの名称などは異なります。

- Presto! PageManager®の場合
  ［ファイル］メニューから［取り込む］の順に選択する

［プレスキャン］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

点線をドラッグして、実際にスキャンする範囲を調節する

必要に応じてスキャナウィンドウ内の項目を設定する

設定項目の詳細については、P.146 を参照してください。

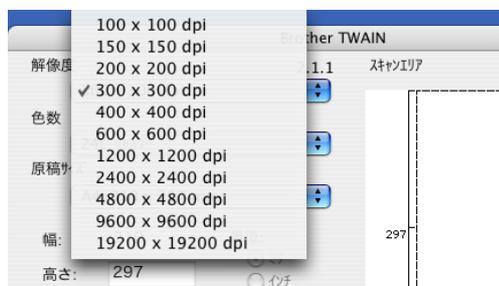
［スタート］ボタンをクリックする

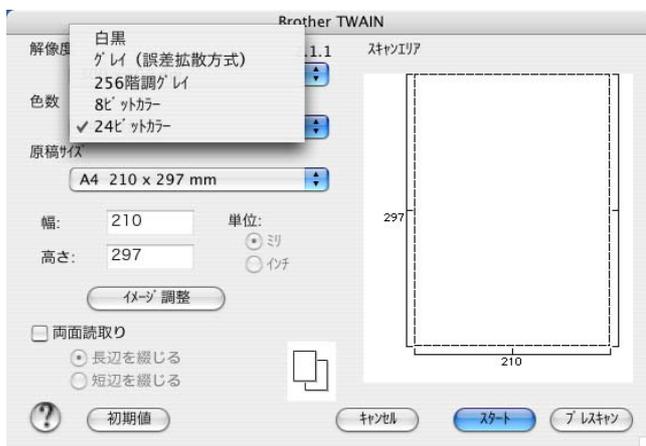
スキャンが終了するとアプリケーション上にイメージが表示されます。

TWAINダイアログボックスの設定項目

TWAINダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

● 解像度

スキャンの解像度は、解像度ポップアップメニューから選択します。より高い解像度を選択すると時間はかかりますが、精密なイメージを取り込むことができます。

● 色数

取り込む色数を設定します。

白黒

線画およびテキストのとき。

グレイ（誤差拡散方式）

写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。

256 階調グレイ

写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。

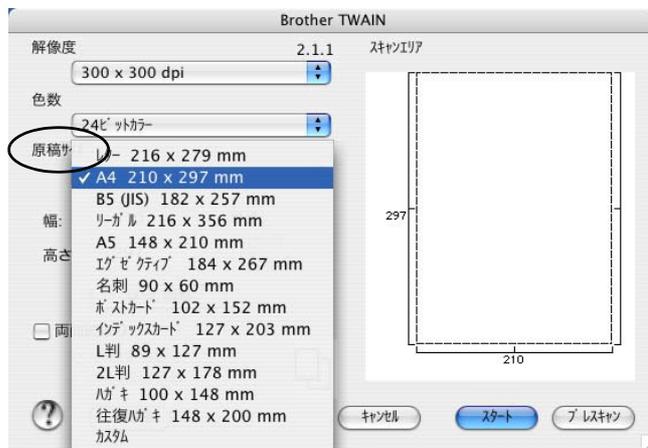
8 ビットカラー

256色のカラーで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。（解像度1200×1200dpi以上は対応していません。）

24 ビットカラー

1677万色のカラーで取り込みます。「8ビットカラー」の約3倍の容量です。

● **原稿サイズ**

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。また、任意の寸法を入力したり任意の範囲を指定することもできます。

● **イメージ調整**

［イメージ調整］ボタンをクリックして、「明るさ」「コントラスト」を調整します。
濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

自動両面スキャンする（MFC-8870DWのみ）

両面に印刷された原稿を自動的に読取ることができます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

［両面読取り］のチェックボックスにチェックする

［長辺を綴じる］または［ 短辺を綴じる］を選択します。

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

［スタート］ボタンをクリックする

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager® 画面に戻ります。

補足

● スキャンする範囲をドラッグして調整することはできません。

● ［プレスキャン］ボタンは、使用することができません。

スキャンボタンを利用する

操作パネル上の[Scan]を押してスキャンモードにすることで、以下の機能が本製品から直接操作できます。

- スキャン FTP
- スキャン Eメール
- スキャン イメージ
- スキャン OCR
- スキャン ファイル

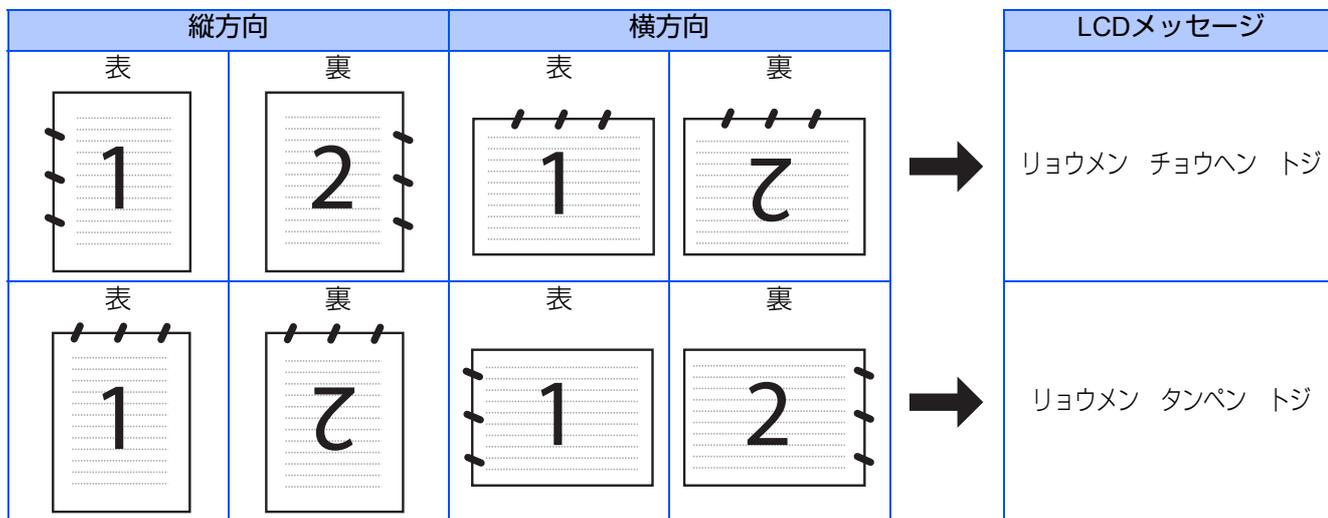
[Scan]を使用するには、あらかじめ本製品をインターフェースケーブルでMacintosh®に接続しておく必要があります。
ここでは、USBで接続されている場合の操作手順を説明します。
ネットワークスキャン機能については、P.153を参照してください。

注意

■Mac OS® 9.1 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。アプリケーションからスキャンしてください。
詳しくはP.145を参照してください。

■自動両面スキャン（MFC-8870DWのみ）をするときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

自動両面スキャン（MFC-8870DWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択することで自動両面スキャンをすることができます。

スキャンEメール

この機能は、スキャン画像をEメールで送る機能です。いったんMacintosh®に送ってからメーラー（電子メールを扱うソフトウェア）で送信する方法と、本製品で直接メールアドレスを指定して送信する方法があります。
ここでは、スキャンしたモノクロまたはカラー原稿を、添付ファイルとしてEメールに取り込む方法を説明します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

[Scan]を押す

[▲▼]を押して「スキャン　Eメール」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

[OK]を押す

[▲▼]を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

[OK]を押す

補足

- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- [Scan]を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくはP.188を参照してください。
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンイメージ

カラー写真のスキャン画像を、グラフィックアプリケーションに取り込んで表示したり修正することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

▲▼を押して「スキャン　イメージ」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

▲スキャン　FTP
　スキャン　Eメール
　スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン

OKを押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OKを押す

補足

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.188を参照してください。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

スキャンOCR

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager®のOCRエンジンを使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

[Scan] を押す

[▲▼] を押して「スキャン　OCR」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ゛
▼スキャン OCR
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
```

[OK] を押す

[▲▼] を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

[OK] を押す

補足
Presto! PageManager®のOCRエンジンによって、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンファイル

モノクロまたはカラー原稿をスキャンして Macintosh® の指定先フォルダに保存することができます。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、P.188 を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

（Scan）を押す

▲▼を押して「スキャン　ファイル」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

補足

ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上のMacintosh®へ送ったり保存できる機能です。

注意

■あらかじめ本製品のTCP/IPの設定が必要です。詳しくは、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

■Mac OS® 9.1 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。

ネットワークスキャンを使用する前に

ネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンするデバイスをあらかじめ選んでおく必要があります。
スキャンするデバイスを変更する場合は、以下の手順で操作してください。

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［DeviceSelector］をダブルクリックする

「Device Selector」画面が開きます。
Device Selector は ControlCenter2 からも起動できます。

［ネットワーク］を選択する

項目を設定する

- IPアドレスを変更する場合は、新しいIPアドレスを入力します。
- 本製品の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

［OK］をクリックする

補足

●本製品のスキャンボタンを使用してスキャンしたい場合は、「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、表示名にお使いのMacintosh®の名前を入力します。

●スキャンした画像データをMacintosh®に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

スキャン画像をEメールに取り込む

この機能は、スキャン画像をEメールに取り込む機能です。いったんMacintosh®に送ってからMacintosh®のメーラー（電子メールを扱うソフトウェア）で送信することができます。
モノクロやカラーの原稿を、添付ファイルとしてEメールに取り込むことができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　Eメール」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

▲スキャン　FTP
　スキャン　Eメール
　スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

- MFC-8460Nの場合は手順9に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順7に進んでください。

▲▼を押して「PC」を選択する

OK を押す

▲▼を押してスキャンしたデータを送信する Macintosh® を選択する

送信先の Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、Macintosh® を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足
- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- Scan を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくはP.188を参照してください。
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャン画像をEメールで直接送る（MFC-8870DWのみ）

スキャン画像をEメールで直接送る準備

Eメールで直接送るには、本製品（送信側）の設定とメールサーバーの設定が必要です。
詳しくは、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

受信側のメールサーバーに、メールアカウントを追加する

メールアカウントとパスワードを設定する

POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認する

通常、メールサーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をしてください。

スキャン画像をEメールで直接送る

本製品でスキャンした画像を、直接宛名を指定して送信します。スキャン画像は E メールの添付ファイルとして、モノクロはTIFFまたはPDF形式、カラーはJPEGまたはPDF形式で送信されます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　Eメール」を選択する

▲スキャン　FTP
　スキャン　Eメール
　スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

7 ▲▼を押して「Eメールデ　オクル」を選択する

8 OK を押す

9 ▲▼を押して「ガシツ　ヘンコウ」を選択する

「アドレス　ニュウリョク」を選択して OK を押すと、手順 15 へ進みます。

10 OK を押す

11 ▲▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。
- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

12 OK を押す

13 ▲▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

14 OK を押す

15 送信先の E メールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法については ユーザーズガイド（HTML 版）を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、E メールアドレスを入力することもできます。

16 スタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

補足

手順9～11で画質を変更しない場合は、＊アドレス（ワンタッチ/スピードダイヤル）に登録された画質・ファイル形式が適用されます。

スキャン画像をMacintosh®に直接送る

本製品のスキャン機能で、画像を Macintosh® のアプリケーションに直接送ることができます。スキャン画像のデータが送られると、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、Macintosh®に表示します。

グラフィックソフトに送る

スキャン画像を、グラフィックソフト（画像処理ソフト）で開きます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

を押す

▲▼を押して「スキャン　イメージ」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

▲▼を押してスキャンしたデータを送信する Macintosh® を選択する

送信先の Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、Macintosh® を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.188 を参照してください。

テキスト変換（OCR）して送る

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager®を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　OCR」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン　FTP
 スキャン　Eメール
 スキャン　イメージ
▼スキャン　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

▲▼を押してスキャンしたデータを送信する Macintosh® を選択する

送信先の Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、Macintosh® を選択した後にパスワードを入力してください。

OK を押す

原稿のスキャンが開始されます。

スキャン画像をMacintosh®に直接送る

スキャン画像を、指定したファイル保存形式で保存します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

［Scan］を押す

［▲▼］を押して「スキャン　ファイル」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ
▼スキャン OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

［OK］を押す

［▲▼］を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

［OK］を押す

［▲▼］を押してスキャンしたデータを送信する Macintosh® を選択する

送信先の Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、Macintosh® を選択した後にパスワードを入力してください。

［OK］を押す

原稿のスキャンが開始されます。

スキャン画像をFTPサーバーに送る

この機能は、スキャン画像を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバーに送信する機能です。スキャンFTPを使用するには、送信先の情報を操作パネルから入力するか、本製品にあらかじめ登録したFTPプロファイルを選択します。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名 15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名 32字以内
- パスワード...32字以内
- 送信先フォルダ 60字以内

FTPプロファイルを登録する

FTPプロファイルは、10件まで登録できます。

コンピュータのウェブブラウザから、本製品にアクセスする

詳細については、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
管理者のパスワードでアクセスしてください。

「スキャンFTP」をクリックする

登録したい「プロファイル」をクリックする

FTPサーバーのプロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

「FTP サーバアドレス」に FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

スキャンした画像の送信先フォルダを入力する

送信先フォルダのパスを入力します。（例：/brother/abc/）

プルダウンリストから解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

10 プルダウンリストから画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

パッシブモードを設定する

お使いの FTP サーバーやファイアウォールの設定によって、ON または OFF に設定します。
お買い上げ時は ON に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

ポート番号を設定する

FTP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。
お買い上げ時は 21 番に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

FTPプロファイルを使用してスキャン画像をFTPサーバーに送信する

スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする

（Scan）を押す

（▲▼）を押して「スキャン　FTP」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

```
▲スキャン FTP
 スキャン Eメール
 スキャン イメージ゛
▼スキャン OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

（OK）を押す

（▲▼）を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

（OK）を押す

（▲▼）を押して、登録した FTP プロファイルを選択する

（OK）を押す

液晶ディスプレイに「ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ」と表示されます。
FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPプロファイルは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、液晶ディスプレイ上で選択する必要があります。必要に応じて手順9、10へ進んでください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま転送されます。また、転送先フォルダが未登録の場合は、FTPサーバ内のROOTフォルダに転送されます。

スキャン画像をFTPサーバーに手動で送信する

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

Scan を押す

▲▼を押して「スキャン　FTP」を選択する

- MFC-8460Nの場合は手順6に進んでください。
- MFC-8870DWの場合は手順4に進んでください。

OK を押す

▲▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

OK を押す

▲▼を押して、「シュドウ　セッテイ」を選択する

登録された FTP プロファイルがない場合は、手順 9 に進みます。

8

OK を押す

ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

10

OK を押す

ダイヤルボタンを押して転送先のフォルダ名を入力する

例：/brother/abc

12

OK を押す

13 ▲▼を押して、［ユーザーメイ　ニュウリョク］か［ガシツ　ヘンコウ］を選択する

- ［ユーザーメイ　ニュウリョク］を選択した場合は、手順15に進みます。
- 解像度は下記の中から選択できます。
  - カラー　150　dpi
  - カラー　300　dpi
  - カラー　600　dpi
  - モノクロ　200　dpi
  - モノクロ　200×100dpi

14 ▲▼を押して、画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

15 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

16 OK を押す

17 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

18 OK を押す

液晶ディスプレイに「セツゾクチュウ」と表示されます。
FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、手順1からやり直してください。FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の液晶ディスプレイに「ニンショウ　エラー」と表示されます。手順1からやり直してください。

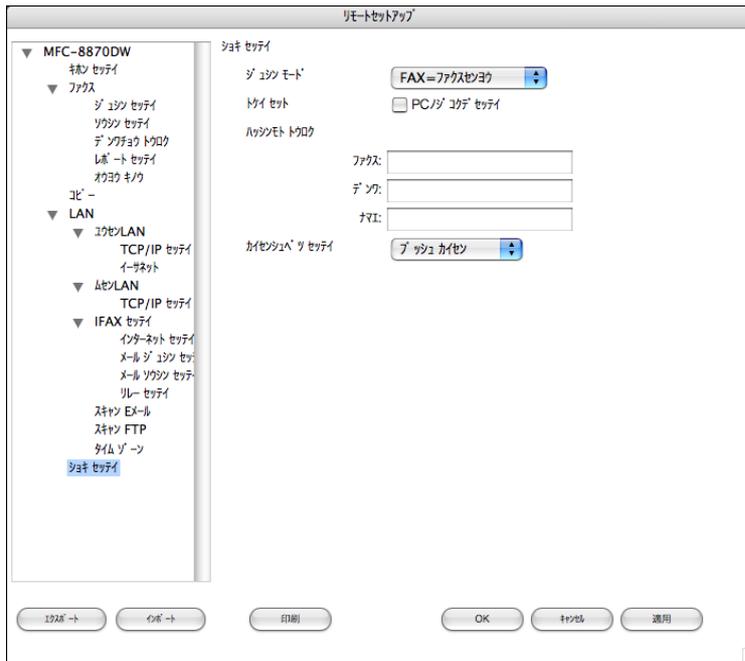
リモートセットアップ

Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合は、この機能は使用できません。

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をMacintosh®で簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［Remote Setup］アイコンをダブルクリックします。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.196 を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にMacintosh®にダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- この章では、MFC-8870DWの画面を例に説明しています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのMacintosh®にBrotherドライバ＆ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ウィルスバスター™などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

① **エクスポート**

現在の設定内容をファイルに保存します。

② **インポート**

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ **印刷**

「デンワチョウ　トウロク」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド（印刷版）P.132 と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ **OK**

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ **キャンセル**

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ **適用**

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

- エクスポート、インポートの機能を使うと、本製品の設定を独立したファイルにそれぞれ保存して設定内容を読み込むことができます。
- 機能の分類の中から、各機能（例：デンワチョウトウロク）を選択してエクスポートをクリックしてください。各機能ごとに設定が保存されます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	－	×
	トクベツカイセン　タイオウ	－	×
	ナンバー　ディスプレイ	－	×
	キノウセッテイ　リセット	－	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×
キホン　セッテイ	モード　タイマー	－	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシンベル　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	－	×
	セキュリティ	セッテイ　ロック	×
		キノウ　ロック	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		リョウメン　インサツ※2	○
		ジュシン　スタンプ	○

※1：オプションの記録紙トレイ2（LT-5300）を増設したときにメニューが表示されます。
※2：MFC-8870DWのみ

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	○
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ/メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	–	×
	アンシン　ツウシン　モード	–	×
コピー	コピー　ガシツ	–	○
	ＦＢテキスト　ガシツ	–	○
	コントラスト	–	○
プリンタ	エミュレーション	–	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
	プリンタ　セット	–	×
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ	×
		インサツ	×
	キノウアンナイ	–	×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン	×
		ナマエジュン	×
	ツウシン　カンリ　レポート	–	×
	セッテイナイヨウ　リスト	–	×
	チャクシンリレキ　リスト	–	×
	ネットワークセッテイ　リスト	–	×
	ゴチュウモン　シート	–	×

分類	中分類	項目		設定の可否
LAN (MFC-8460N)	TCP/IP セッテイ	IP シュトク ホウホウ		○
		IP アドレス		○
		サブネット マスク		○
		ゲートウェイ		○
		ノード メイ		○
		WINS セッテイ		○
		WINS サーバ		○
		DNS サーバ		○
		APIPA		○
		IPv6		○
	イーサネット	–		○
	スキャンFTP	–		○
	LANセッテイ リセット	–		×
LAN (MFC-8870DW)	ユウセンLAN	TCP/IPセッテイ	IP シュトク ホウホウ	○
			IP アドレス	○
			サブネット マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード メイ	○
			WINS セッテイ	○
			WINS サーバ	○
			DNS サーバ	○
			APIPA	○
			IPv6	○
		イーサネット	–	○
		ショキセッテイ ニ モドス	–	×
		ユウセンLAN ユウコウ	–	×
	ムセンLAN	TCP/IPセッテイ	IP シュトク ホウホウ	○
			IP アドレス	○
			サブネット マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード メイ	○
			WINS セッテイ	○
			WINS サーバ	○
			DNS サーバ	○
			APIPA	○
			IPv6	○
		ムセンLAN セッテイ	セッテイ ウィザード	×
			AOSS	×

分類	中分類	項目		設定の可否
LAN （MFC-8870DW）	ムセンLAN	ムセン　ジョウタイ	セツゾク　ジョウタイ	×
			デンパ　ジョウタイ	×
			SSID	×
			ツウシン　モード	×
		ショキセッテイ　ニ　モドス	−	×
		ムセンLAN　ユウコウ	−	×
	IFAX　セッテイ	インターネット　セッテイ	メール　アドレス	○
			SMTP　サーバ	○
			POP3　サーバ	○
			アカウント　メイ	○
			パスワード	○
		メール　ジュシン　セッテイ	ジドウ　ジュシン	○
			ポーリング　カンカク	○
			ヘッダ　インサツ	○
			エラー　メール　サクジョ	○
			ジュシン　カクニン	○
		メール　ソウシン　セッテイ	メールタイトル	○
			サイズ　セイゲン	○
			ジュシンカクニンヨウキュウ	○
		リレー　セッテイ	リレー　キョカ	○
			キョカ　ドメイン	○
			リレー　レポート	○
	スキャン　Eメール	カラー	−	○
		モノクロ	−	○
	スキャン　FTP	カラー	−	○
		モノクロ	−	○
	タイム　ゾーン	−	−	○
	LANセッテイ　リセット	リセット	−	○
		キャンセル	−	×

補足

●各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）P.196を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ　ﾄｳﾛｸ」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大40件（1～40）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は15桁まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号、またはメールアドレス（MFC-8870DWのみ）と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

登録する短縮番号の行にある「ファクス／デンワ／Eメール」※に電話番号、ファクス番号またはメールアドレス（MFC-8870DWのみ）を入力する

※ MFC-8460Nの場合は、［FAX／TEL　バンゴウ］

種別を選ぶ

- MFC-8460Nの場合：「ファクス／デンワ」のみ
- MFC-8870DWの場合：「ファクス／デンワ」、「インターネットファクス」または「Eメール」

「アイテサキ　メイショウ」に相手先の名前を入力する

グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスをONにする

例）グループ3に登録する場合は、「G3」をONにします。

［OK］をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 20」から選びます。
例）ここでは「グループ 2」を選びます。

「アイテサキ　メイショウ」にグループ名を入力する

グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

[OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

PC-FAX

PC-FAXを使用する（Mac OS® X10.2.4以降）

PC-FAXを利用すると、Macintosh®上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。あらかじめ、PC-FAXのアドレスブックに相手先を登録しておくことで、電話帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

- ●Mac OS® Xへの対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しています。以下のサイトを参照してください。
  http://solutions.brother.co.jp
- ●PC-FAXは、モノクロのみ対応しています。

ファクスを送る

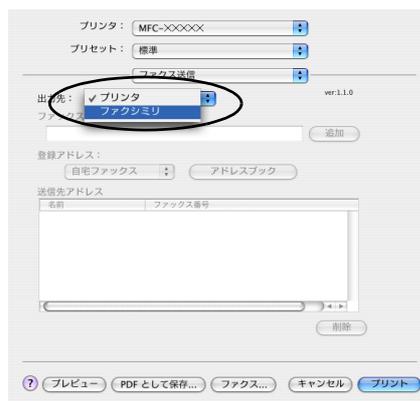
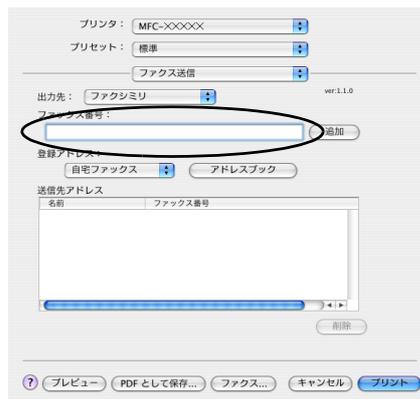
Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。

プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方(ControlCenter2)
付録

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

アドレスブックから送信先を設定する

アドレスブックからvCardをドラッグすることで送信先を設定することができます。

［アドレスブック］をクリックする

アドレスブックが起動します。

アドレスブックから vCard を［送信先アドレス］までドラッグする

［送信先アドレス］に番号が表示されます。

ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする

注意

■vCardは自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

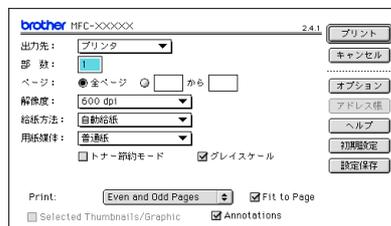
PC-FAXを使用する（Mac OS® 9.1～9.2）

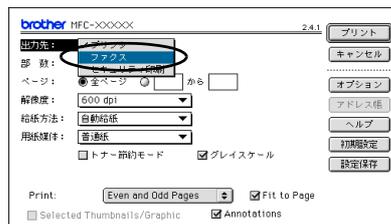
PC-FAXを利用すると、Macintosh®上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。あらかじめ、PC-FAXのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、電話帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

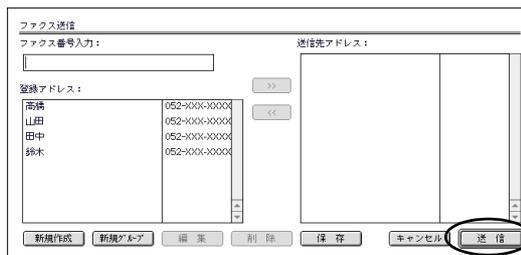
補足
PC-FAXは、モノクロのみ対応しています。

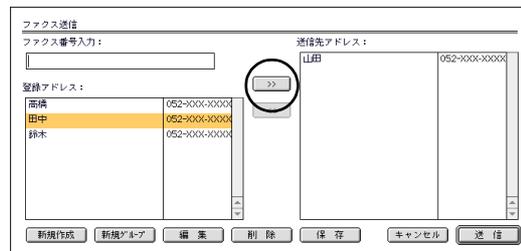
ファクスを送る

Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成する

［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。

［出力先］から［ファクス］を選択する

［送信］をクリックする

［ファクス送信］ダイアログが表示されます。左のボックスには保存されているファクス番号リスト、右のボックスには送信先のファクス番号がそれぞれ表示されます。

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する または、ファクス番号リストボックスから名前またはファクス番号を選択して［>>］をクリックする

ファクスの受信者ボックスに宛先が表示されます。

［送信］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

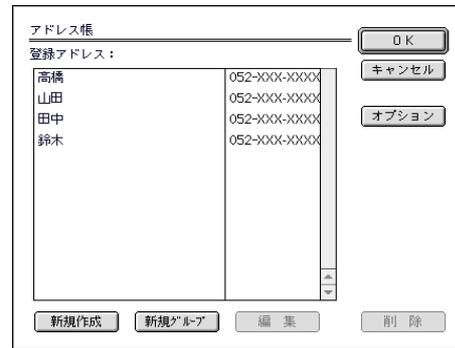
●手順5で、［Shift］ボタンと［Ctrl］ボタンを使用すると、複数の宛先を一度に指定できます。

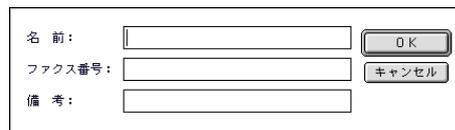
●手順　4　の画面で、［新規作成］をクリックすると、新しい宛先をアドレス帳に追加することができます。また、［新規グループ］をクリックすると新しいグループを登録できます。詳しくは、P.182 を参照してください。

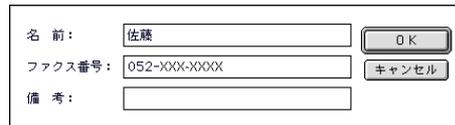
●原稿の特定のページのみを選択して送信する場合には、［保存］をクリックして［プリント］ダイアログに戻ります。

PC-FAXアドレス帳に相手先を登録する

［ファクス］ダイアログの［アドレス帳］をクリックする

［アドレス帳］ダイアログボックスが表示されます。

［新規作成］をクリックする

右のダイアログボックスが表示されます。

名前とファクス番号を入力する

備考にはカナ文字で 10 文字以内、英数字で 20 文字以内のコメントを入力できます。

［OK］をクリックする

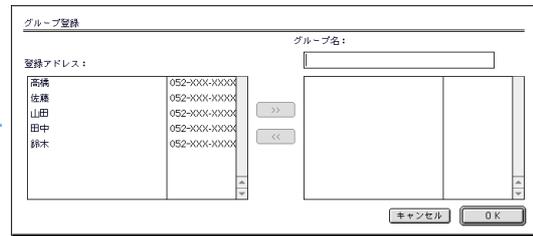
［アドレス帳］ダイアログボックスに戻ります。

補足

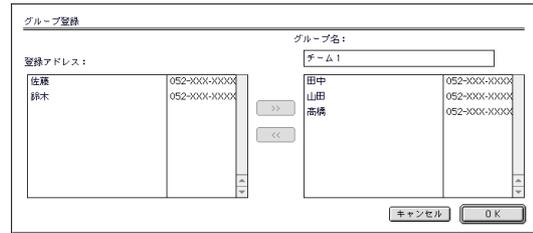
ファクスの宛先を指定している途中でも新しい宛先やグループを登録できます。

グループダイヤルに相手先を登録する

［新規グループ］をクリックする

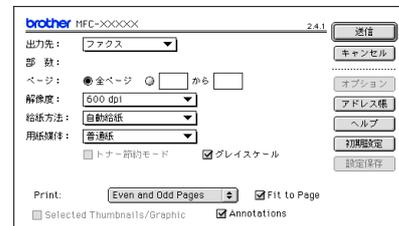
［グループ登録］ダイアログボックスが表示されます。

グループ名欄にグループ名を入力する

ファクス番号リストで目的の名前を指定し［>>］をクリックする

指定した名前はグループ名欄の下に表示されます。

［OK］をクリックする

［アドレス帳］ダイアログボックスが表示されます。

［OK］をクリックする

［ファクス］ダイアログボックスが再び表示されます。

ファクスを送信する準備ができたら［送信］をクリックする

ファクスの送信手順についてはP.179を参照してください。

その他の便利な使い方（ControlCenter2）

Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合は、この機能は使用できません。

ControlCenter2とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PC-FAXなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の基本操作

ControlCenter2では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。
ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。

① モデル名を選択する

ネットワーク接続などで複数のブラザー機器が接続されているときは、操作するモデル名を選択します。

② 機能タブをクリックする

スキャン、PC-FAXなど機能の種類を選択します。

③ 使用する機能のボタンをクリックする

機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選択します。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。
Macintosh®と本製品の接続方法によって表示されるボタンの数は変わります。

補足
［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

使用できる機能

ControlCenter2画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。

①スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.187 を参照してください。

②カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.189 を参照してください。

③コピー /PC-FAX

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.191 を参照してください。
また、スキャンしたデータを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.191 を参照してください。

④デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.193 を参照してください。

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

ControlCenter2を起動する

[MacintoshHD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [ControlCenter] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする

タスクトレイに が表示されます。

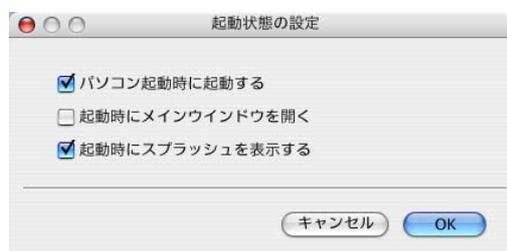
起動時の動作を設定する

Macintosh®を起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

メニューバーの をクリックして、[起動状態の設定] を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2 が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
  ControlCenter2 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

[OK] をクリックする

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、Macintosh®で編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにMacintosh®の指定したフォルダに保存します。

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。
ファイル形式－保存したいファイル形式をファイル形式のプルダウンメニューから選択することができます。

- Windows® ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF－非圧縮（*.TIF）
- TIFF－圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－非圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

［Ctrl］ボタンを押しながらボタンをクリックする

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本体スキャンボタンの設定］タブをクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合

［OK］をクリックする

Windows®編
Macintosh®編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。

よく使う設定を登録する

［Ctrl］ボタンを押しながらボタンをクリックする

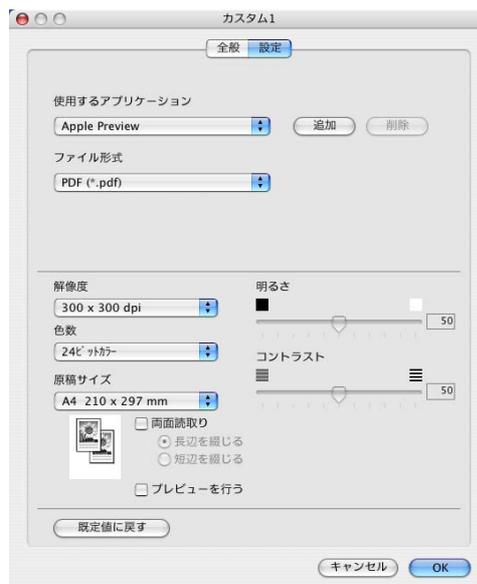
「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

「カスタムの名前」に名前を入力する

スキャンの種類を選択する

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」から選びます。

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

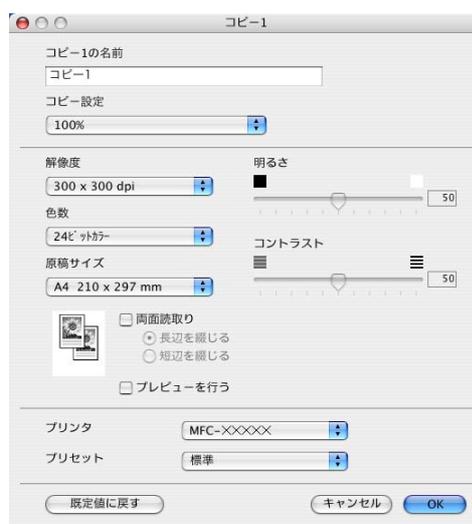
スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX

原稿をコピーしたり、Macintosh®からファクスをします。コピーとファクス送信の設定を４つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

[Ctrl] ボタンを押しながらボタンをクリックする

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

「コピー 1 の名前」に名前を入力する

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、[プレビューを行う] チェックボックスを選択します。

[OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

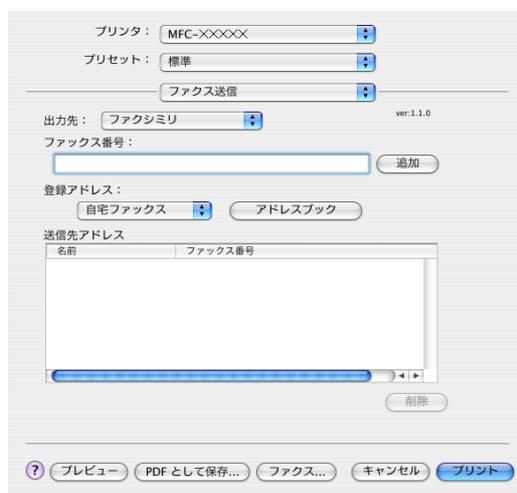
設定に従ってコピーが実行されます。

PCファクスを送信する

原稿をセットして、[Ctrl] ボタンを押しながらボタンをクリックする

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

「プリンタ」で本製品を選択する

PC-FAX 送信の操作については、P.176 の手順３以降をご覧ください。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

① リモートセットアップ

Macintosh®上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.167 を参照してください。

② 電話帳

Macintosh®上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくは、P.173 を参照してください。

③ ステータスモニタ

Macintosh®上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくは、P.132 を参照してください。

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド（印刷版）P.175を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイド（印刷版）P.179を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行っても問題が解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

使用環境

コンピュータ環境〔Windows®〕

本製品とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。またブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/32MB（推奨128MB）以上
- Windows® 2000 Professional、Windows NT® 4.0（SP6以降）
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/64MB（推奨256MB）以上
- Windows® XP
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/128MB（推奨256MB）以上
- Windows® XP Professional x64 Edition
  AMD Opteron™プロセッサ/256MB（推奨512MB）以上
  AMD Athlon™64プロセッサ/256MB（推奨512MB）以上
  Intel® EM64Tに対応したIntel® Xeon™/256MB（推奨512MB）以上
  Intel® EM64Tに対応したIntel® Pentium® 4/256MB（推奨512MB）以上

補足

●複合機すべての機能を快適にご使用いただくために、Intel® Pentium® III プロセッサ 1GHz 以上の CPU とメモリー容量256MB以上のパソコン環境でのご利用をおすすめします。（Windows® XP Professional x64 Editionでは、上記環境になります。）

ディスク容量

400MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
IEEE 1284準拠（双方向パラレルインターフェース）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE802.11b/g）[MFC-8870DWのみ]

- OS対応表
  お使いいただいているコンピュータのOSによって本製品で使用できる機能が異なります。

	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP	Windows® NT® 4.0（SP6以降）
プリンタ	○	○
スキャナ	○	○
Presto! PageManager®	○	×
PC-FAXソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	○	○
ControlCenter2	○	○
ステータスモニタ	○	○

補足

- USBケーブル、パラレルケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB接続は、次のOSに対応しています。
  Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition
- Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。
- Windows NT® 4.0を使用してる場合、ネットワーク接続では、スキャナ、PC-FAX（受信）、リモートセットアップおよびControlCenter2に対応していません。

コンピュータ環境〔Macintosh®〕

本製品とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
当社ホームページ（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® 9.1～9.2/32MB（推奨64MB）以上
Mac OS® X 10.2.4以降/128MB（推奨160MB）以上

CPU

Power PC G3/G4/G5、Intel Core Solo/Duo

ディスク容量

280MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB2.0（USB1.1対応のMacintosh®でもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE802.11b/g）［MFC-8870DWのみ］

- OS対応表
お使いいただいているMac OS®のバージョンによって本製品で使用できる機能が異なります。

	Mac OS® 9.1～9.2	Mac OS® X 10.2.4以降
プリンタ	○	○
スキャナ※	○	○
Presto! PageManager®	○	○
PC-FAX送信	○	○
リモートセットアップ	×	○
ControlCenter2	×	○
ステータスモニタ	×	○
無線LAN	×	○

※Mac OS® 9.1～9.2はネットワークスキャナには対応していません。

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.4までをお使いの場合は、Mac OS® 9.1以降へのアップグレードが必要となります。
- Mac OS® X 10.2をお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

索 引

て

ね

は

ふ

め

ゆ

り

れ